

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和八年二月二十四日(金曜日)午後一時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 田中 貞二君

福井 甚三君 松山常次郎君

島田七郎右衛門君 清家吉次郎君

三善 信房君 土井 權大君

宮崎 一君 池田 秀雄君

山田 助作君 木曾三四郎君

高田 耘平君 小池 仁郎君

由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 石渡莊太郎君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス

○清家委員 私ハ一昨日午後四時デ、一應質問ヲ打切ルト云フ委員長ノ御命令ヲ守ッ

テ四時ニ打切ッ次第デアリマス、併シ議論ハ盡キタノデアリマセヌ、拓務大臣ニ對

シテ質問ノ仕掛リデアリマス、故ニ大臣ノ出席ヲ求メマス

○東委員長 松山君ハ政府委員デ宜シウゴザイマスカ

○松山委員 拓務大臣ニモ出席シテ戴キタイ、併シソレ迄ニ他ノ事ニ付テ政府委員ニ

伺ヒマス——初メニ朝鮮ニ於ケル米穀統制ノ狀況ヲ大體御話ヲ願ヒタイノデアリマス

○今井田政府委員 只今ノ朝鮮ニ於ケル米穀統制ノ方法ニ付テドウ云フコトヲヤルカ

ト云フ御話デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り、農林省ニ於キマシテ、朝鮮ノ米穀ヲ買

上ゲル、其外ニ朝鮮ト致シマシテ經濟的ノ

統制ヲ出來ルダケ致シタイ、左様ナ考カラ色々ナ計畫ヲ立テ、居ルノデアリマス、從

來ノ實際實行シマシタ方法ト致シマシテハ、出來ルダケ保管ノ施設ヲ十分ニ致シタ

イト云フ所カラ致シマシテ、或ハ米穀倉庫、或ハ農業倉庫、其他野積ノ方法ニ依リマシ

テ、穀ヲ保管スル、而シテ之ニ對シテ出來ルダケ低利ナ金融ヲ致ス、斯様ニ致シマシ

テ一時ニ市場ニ米ガ殺到致スコトヲ防止スルト云フヤウナ方法モ採ッタノデアリマス、

將來ノ各種ノ施設ニ付キマシテハ、大體斯様ナ從來採ッタ方法、即チ完全ナル米、玄米

或ハ粳等ニ對スル施設、又之ニ對シテ出來ルダケ低利ノ資金ヲ潤澤ニ供給スル方法、

或ハ又一層進ンデ貯藏ニ對シマシテ、或ル程度ノ獎勵補助ヲ致ス、或ハ現ニ高利ナル

利子ヲ拂ッテ一年間ノ食料品ノ管理ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、是等ニ對シテ相當

低利ナル粳、又ハ玄米ヲ供給スルノ方法ヲ講ジマシテ、米ノ消費ヲ出來易クスルト云

フヤウナ方法モアルノデアリマス、是等各

種ノ方法ニ付キマシテハ、目下關係ノ各當局ノ間協議中デアリマシテ、尙ホ確定致

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

シテ居リマセヌ、此程度マデ御答致シテ置キマス

○松山委員 朝鮮ニ於ケル米ノ統制ハ昨年から始メタノデアッタト記憶致シテ居リマ

スルガ、ソレモ三回位米ノ買上ゲ爲スッタコト、記憶ヲ致シテ居リマス、若シ間違ガ

アレバ御訂正ヲ願ヒマス、其成績ガドウ云フコトニナッテ居リマスガ、豫定ノ數量ヲ買

ヒ得テ、皆クソレガ運ンデ居リマスルカ、其事ヲ御伺シタイノデアリマス

○荷見政府委員 只今ノ昨年カラ開始致シマシタ朝鮮米ノ季節的調節ノ爲メノ買入ノ

狀況ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、是ハ此法案ニモゴザイマス季節調節ノコトニ關

シマシテ、御參考ニナルト思ヒマスカラ、其概要ヲ中上ゲマスト、私共ガ季節調節

ノ買入ヲ致サウト致シマシタ目的ハ、朝鮮米ガ出來秋ニ一時ニ内地ノ市場ニ出廻リマ

スコトハ、内地ノ米價ニ惡イ影響ヲ及ボシマスバカリデハナクテ、朝鮮ニ於ケル米價

モ亦同時ニ不利益ヲ受クル、全體ニ不利益ナ問題デアリマスカラ、自治的調節ノ問題

ハ只今政務總監カラ御話ガアリマシタヤウ

ニ朝鮮ニ於キマシテハ二三年來御實行ニ
ナッテ居ルノデアリマスガ、其外尙ホ一ツノ
經濟施設トシテ、季節出廻ノ過剩米ヲ政府
ガ買入レマシテ、之ヲ出廻期以後ニ賣却致
シマシテ、出廻數量ヲ調節致サウ、斯ウ云
フ見込デ始メタノデアリマス、ソレデアリ
マスカラ、此季節出廻ノ調節ト云フコトガ
目的ヲ達シマスレバ、其買フ數量ハ別ニ幾
ラト制限ノアル問題デハゴザイマセヌガ、
大體今迄ニ朝鮮米ノ買入ハ四回程實行致シ
テ居リマス、ソレデ其總數量ハ四十四萬石

アリマスマイト考ヘテ居リマスガ、今政務
次官カラ御話ノアリマシタ或ハ保管設備ノ
整理、或ハ之ニ對スル資金融通等ノ方法モ
相當效果ガアリ、或ハ今年ノ出廻米ノ狀況
ト云フヤウナモノモ幾分效果ガアッタダラ
ウト思ヒマスケレドモ、兎ニ角只今申上ゲ
マシタヤウナ出廻ガ前年ニ較ベテ左程多ク
ナク行ッタト云フコトハ、政府ノ行ヒマシタ
季節調節ノ施設ト云フコトモ相當效果ガ
アッタモノデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○松山委員 今米穀部長カラ御報告下サイ

今年ノ出廻ノ狀況ニ付キマシテ一寸申上ゲ
テ見マス、大體本年ハ前年度ニ較ベマシ
テ朝鮮米ノ收穫ガ四十七萬石バカリデアリ
マスガ、約五十萬石餘計ニ增收サレテ居ル
ノデアリマス、然ルニ今年ノ出廻ノ狀況ヲ
申シマス、十一月カラ一月マデノ間ニ昨
年ニ比シマシテ約三萬石バカリ餘計ニ内地
ニ移出サレタノニ止ッテ居リマス、而シテ其
中最モ直接ニ内地ノ米價ニ影響シマス玄米
ノ部分ニ付キマシテハ、是ハ昨年ヨリ二十
四萬何千石力減少シテ居ル狀況デゴザイマ
シテ、米價ノ上ニハ相當效果ガアッタモノ
デアラウト思ヒマス、尤モ此季節調節ノ買
入ノ施設ノミデ效果ガアッタト云フノデハ

マシタ所ニ依ルト、朝鮮總督府ノ買上ゲタ
モノガ四十四萬石トカ云フコトデアリマ
ス、七百萬石モ日本へ來ル米ニ對シテ、四
十四萬石ヤソコラノ買上デ、果シテ調節ノ
目的ヲ達シテ居ルカ、私共ハ甚ダ其效果ニ
付テ疑フノデアリマス、私共ノ承知致シテ
居リマスル所デハ、朝鮮ニ於ケル米ノ買上、
統制ノ爲メノ買上ト云フモノ、成績ガ甚ダ
宜シクナイ、斯様ニ承知致シテ居ルノデス、
ソレニハ理由ガアル、ドウ云フ理由カト申
シマスルト、ソコガ役人ノ眼ノ届カヌ所ナ
ンデアル、是ハ少シク御參考ニナルト思ヒ
マスカラ、聞イテ置イテ戴キタイト思ヒマ
ス、朝鮮ニ於ケル買上ニ對シテドウ云フ實

際ノ動キニナッテ居ルカト申シマスレバ、御
承知ノ如ク朝鮮ニ於テハ、水利組合ニ對ス
ル納付金、或ハ税金ト云フヤウナモノガ年
末ニ固マッテ來ル、朝鮮ニ於テハ一般ニ資力
ノ餘裕ガナイ、金融機關ガ不備デアル關係
上、無暗ニ年末ニ賣出シテ來ル、是モ政府
當局ノ能ク御承知ノコト、思フノデアリマ
スルガ、其賣出シテ來タモノヲドウスルカ
ト云フト、商人ガソレヲ買フ、日本内地ニ
直グ移出シテ來ルモノモアリマセウ、移出
シテ來ナイマデモ朝鮮ノ商人ガソレヲ買フ
ノデス、サウシテソレヲ買占メルト云フ
ト、商人ガ買上ノ運動ヲ始メル、サウスル
ト總督府ノ役人ハ實情ヲ知ラスカラ、買上
ノ輿論ガ起ッタト云フノデ、役人ガボツ／＼
動キ出シテ、サウシテ朝鮮總督府ガ米ノ買
上ヲヤルト云フコトニナルト、米ノ値段ガ
ズット上ッテ來ル、上ッテ來ルト、ソレガドウ
云フ風ニ反映スルカト云フト、日本内地ニ
直グソレガ影響シテ、今度ハ朝鮮デ米ノ買
上ヲヤルト云フト、米ガ上ッテ來ルト云フ
コトデ、内地デ又朝鮮米ヲ買フ値段ガ上ッ
テ來ル、サウスルト釜山ニ於ケル商人ハ、
大手筋デ運送費トカ、手数料トカガ利益ガ
少イモノデアリマスカラ、總督府ニ賣ラヌ
デ、直グ内地ニ送り出シシマフ、斯ウ云

フヤウナコトガ實際ニ行ハレテ、朝鮮ニ於
ケル調節ノ爲メノ此買上ト云フコトガ、殆
ド商人ニ左右サレテ居ル實狀ガアル、總督
府ハ何時モ買ハウト思フ豫定ノ數量ダケハ
買ヘナイ、商人ニ自由ニサレテ居ル、サウ
シテ其買上ノ爲ニ値段ノ上ッタモノハ實際
ノ生産者ノ懷ロニハ入ラナイ、殆ド商人カ
ラ總督府ハ買テ居ル、斯ウ云フヤウナ實
情ニナッテ居ルノデゴザイマス、是ハ一ツ能
ク御調ヲ願ヒタイシ、將來此運用ヲセラレ
ル上ニ於テ、特ニ御注意ヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス、ソレカラモウ一ツ米ノ統制
上デ、吾々ハ朝鮮ト内地ノ差別的待遇ラス
ルコトハ望マナイ、併ナガラ地理的ニ朝鮮
ト云フ一ツノ區劃ヲ限ッテ、彼方デ統制ヲ
ヤッテ、餘ル米ハ日本内地ニ持ッテ來ナイデ、
直グ外國ニ賣ルト云フコトガ極メテ必要ナ
コトデヤナイカト思フノデアリマス、平均
賣ラセラレルト云フコトデアリマスルガ、
其平均ガ日本ノ需要スル物ヨリ以上ニ、平
均ニソレガヤッテ來ルナラバ、假令ソレガ其
時ニ來ナクトモ、後ニ來ル米ガ澤山アルト
云フコトガ、日本ノ米價ヲ壓迫スルノデアリ
マス、デアリマスカラ大體ニ於テ今年必要
トスル米ノ量ハ農林省ニ於テ決マリマセ
ウカラ、ソレニ對シテ月別ニ朝鮮カラドレ

ダケノモノヲ取ルト云フ、其必要以上ノ數量ハ直グ之ヲ外國ニ賣ツシマフト云フコトニシナケレバ、私共ハ假令ソレガ月別平均ノ調節ヲ爲サツテモ、日本内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フコトニ對スル效果ガ甚ダ薄カラウト思フノデアリマス、此事ニ付テハ農林省ノ米穀部長ガ御答下サツテモ宜シイシ、政務總監ガ御答下サツテモ宜シイデアリマスガ、其事ニ付テ考慮ヲ拂ッテ居ラマスカドウカ、拂ッテ居ラレルナラバドウ云フ施設ヲシテ居ラレマスカ、或ハ朝鮮總督府カラ是マデ外國ニ米ヲ賣ツタ、外國ニ輸出スルコトニ付テドウ云フ經驗ヲ持ッテ居ラレマスルカ、ソレ等ノコトニ付テ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員

只今ノ御話ニ付テ、現在季節調節ノ爲ニ、米穀法ノ運用ニ依リマシテ、米ノ買入ヲ行ッテ居リマスノハ、農林省デアリマスカラ、私ノ方カラ今ノ御問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、大體前段ニ御話ニナリマシタ朝鮮米ノ買入ヲ政府ガ致シマス時ニ、買入ト云フコトニナルト、産地ノ米モ高クナル、隨テ内地ニ於ケル一般ノ米價ガ引上ル、ソレデアルカラ其高クナル時期ヲ見テ、朝鮮ノ方カラ米ヲ内地ノ方ニ賣ッテ來ルノデアッテ、效果ハ甚ダ遺憾ナ點

ガ多イト云フヤウナ御話ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、大體御話ノヤウニ此米ノ買上ヲ致スト云フコトニナリマス、ソチラノ市場ニ於テヤハリ米價ハ引締ッテ參リマスノデ、騰貴モ致シマスガ、ソレハ政府ノ買入ニ應ジヨウト云フガ爲ニ、賣腰ガ強クナツタ爲メノ引締リデゴザイマスカラ、其買入ノ爲ニ特ニ餘分ノ米ガ内地ニ入ッテ來ルト云フヤウナコトハ無イヤウデゴザイマス、ソレハ只今統計數字ニ依リマシテ、松山サンニ申上ゲマシタ點ニ依ッテモ御了承ガ願ヘルト思ヒマス、ソレカラ第二ノ折角買上ゲタ米ヲ、出廻期以後ニ朝鮮ナリ、内地ナリニ賣却スルト云フコトニナルト、隨テ其時期ニ於テ米價ヲ壓迫スルヤウニナルノデアルカラ、ソレヲ外國等ニ賣捌クコトヲ考ヘテ居ルカドウカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ米穀ノ事情ニモ依リマスノデ、非常ニ米ガ豊富デアッテ、米價ガ安クテ困ル、調節シナクテハナラヌト云フヤウナ場合ガ發生致シマスレバ、而シテ朝鮮ノ米ヲ朝鮮デ買ッテ置イタノヲ賣却致シマシテモ、悪い影響ガ出ルト云フコトニナレバ、御話ノヤウナ施設ヲ講ジナケレバナラヌカト思ヒマス、其點ニ付キマシテハ朝鮮米ニ付テマナク、内地米ニ付テハ前回モ申上ゲ

マシタヤウニ、色々外國ニ賣却致シマシタ經驗等モゴザイマス、米價ガ非常ニ低イ場合ニハ、政府ガ之ヲ保管シテ長ク貯藏致シテ置キマスヨリハ、外國ニ賣ツタ方ガ特別會計ノ立場カラモ有利ナ場合モゴザイマスシ、又米價ヲ維持シマス上カラ言ッテモ、相當利益ガアル場合ガゴザイマスカラ、サウ云フ必要ガ起リマスレバ、外國賣却等ノコトモ十分考慮シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松山委員

外國賣却ノコトヲ考ヘテ居ルト云フ御話デアリマスガ、私共ノ見ル所デハ、日本ノ政府ノ倉庫ニ何百萬石ト云フモノヲ貯藏シテ居ル其事ガ、日本ノ米價ヲ壓迫スルヤウニ考ヘルノデアリマス、故ニ願ハクバ今迄ヨリモモウ少シク、其事ニ付テ政府ガ考ヘ直サレテ、大體ニ於テ算定ヲスレバ必要ナ數量ガ分リマセウカラ、或ル程度ノ餘裕モ分リマセウカラ、ソレ以上ノ餘ッタ米ハ、其年ニ於テ外國ニ賣ッテシマフ、足ラナケレバ外國カラ買フ、モット自由ニ日本米ヲ外國ニ輸出スル或ハ輸入スルト云フコトニ付テノ、途ヲ講ズルト云フコトガ必要デナイカ、日本ノ米ハ高イカラ外國ニ賣レナイ、國際的商品トシテノ性質ガ小麥ナドニ較ベテ少イト云フコトヲ能ク言ハレルノ

デアリマスガ、自然サウ云フコトモアリマセウケレドモ、今言フ其事ガ日本ノ米價ヲ壓迫シテ、サウシテ農村ヲ困難ニ陷レルト云フ場合ニハ、當ニ買フタ物ヲ幾ラニ賣ルト云フ商賣氣ヲ離レテ、之ニ政治的考察ヲ加ヘテ外國ニ輸出スル、サウシテモット日本ノ米ヲ國際的商品トシテノ性質ヲ帶バシメルヤウニシテ、餘ッタ物ハ外國ニ賣ルノダ、足ラヌ時ハ外國カラ買フノダト云フコトヲ是ハ自由ニ商人ニヤラセナイデ、政府ガモッテ乗出シテヤルト云フコトニスレバ、米價ノ上ニモット良イ影響ヲ來スノデハナカラウカト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、此事ニ付キマシテ海外ニ輸出ヲセラレル狀況ニ付テ、今少シク是マデノ經驗ニ付テ御聽キシタイト思フノデアリマス、サウシテソレガドレ位ノ回數ヲヤツタカ、ドレ程ノ數量ヲヤツタカ、値段ハドレ位デ賣ツタカ、ソレハ其當時ノ日本内地ノ米價ニ比シテドレ位格安ニ賣ツタカ、サウシテドウ云フ商人ニソレヲ取扱ハセテ居ルカ、サウ云フ狀況ニ付テ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○土井委員

議事進行ニ付テ——此米穀統制委員會ハ重要ナ委員會デアリマス、ソレデ大臣ガ見エヌカラ止メヨウデヤナイカト云フヤウナ御説モ出ルノデアリマスガ、只

今折角大臣が見エテ居ルコトデアリマスカラ、事務的ノコトヨリモ、大臣ニ對スル質問ノ方ヲ先ニシテ戴イタラドウカと思ヒマス
〔贊成ト呼フ者アリ〕

○松山委員 是ハ大臣ニ關係ガアル、是非農林大臣ニ聽イテ置カナケレバナラス、事務的ノコトハ農林大臣ガ一々御分リニナルマイト思ヒマスカラ、米穀部長カラ御話ヲ聽クノデアリマスガ、ソレハ大臣ガ責任ヲ有ツテ聽イテ置イテ戴キタイノデス、是カラ私ノ話ガソレニ進ンデ行クノデアリマスカラ、ドウカ其意味ニ於テ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 今ノ松山サンノ御質問ニ御答申上ゲマスガ、政府米ヲ、又内地ノ米ヲ外國ニ賣ツタ方宜イカドウカト云フコトハ、只今モ申上ゲマシタヤウニ、内國ニ於ケル米穀ノ需給ノ狀況、ソレカラ直接影響致シマスノガ米價ノ事情、斯ウ云フ風ナ模様ニ依リマシテ賣ツタ方適當ナリト認メル場合ニハ、外國ニ輸出モ致サウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、大體今度ノ統制法ノ中ニモ、輸出ヲ目的トスル政府米ノ賣却ト云フコトニ付テハ規定ヲ設ケテ居ル次第デアリマス、ソレカラ過去ニ於キマシテ外國ニ賣却致シマシタノ

ハ、先般モ申上ゲマシタヤウニ歐羅巴方面、亞米利加、南洋、阿弗利加、支那等ノ全世界ニ及ンデ居ルノデアリマス、尤モソレ以前ニ於キマシテハ、非常ニ永イ間外國ヘ大量ノ米ヲ輸出致シタコトハナイノデアリマシテ、最初ハ果シテ此日本ノ内地米ガ、印度洋ヲ越エテ歐羅巴ニ著キ得ルカドウカ、向フニ行ツタ場合ニハ、モウ黃色イ米ニナツテシマフデアラウト云フコトデ、如何ニ賣却ノ契約ヲ致サウト致シマシテモ、向フデ買應ズル者ガアリマセヌ、冒險的ニ輸出ヲ致シタノデアリマスガ、其輸送ノ結果ガ比較的好成績デアリマシタノデ、其後段々ト賣口ガ付イテ參ツタノデアリマス、サウ云フ事情カラ、初メハ買手ガ殆ドナイヤウナ狀況デアリマシタノデ、價格モ相當アカツタノデアリマス、併シ次第ニ日本米ノ取引ガ出來テ參リマスニ連レテ、價格モ相當デ取引ガ出來ルヤウニナツタ譯デゴザイマスガ、ソレデモ距離ノ近イ西班牙米デアルトカ、伊太利米ト云フモノガ歐羅巴ヘ出マスノト、兎ニ角東洋ノ方カラ長イ間船ニ積ンデ持ッテ行ツテ賣却シマス分トデハ、運送賃モ、保管料モ、金利モ、何モ計算致シマス、近クノ外國米程有利ニハ行カナイノデアリマス、ソレデ最初ハ右申上ゲマシタヤウナ事

情カラ、價格モ割合ニ安イモノデゴザイマシタガ、世間ガ言ツテ居ルヤウナ、米寄越セ會ガ言フヤウナ程度ノモノデハアリマセヌガ、安イモノデアリマス、併シ半バ以後ニ於テハ内地デ拂下ヲ致シマスノト大差ナイマデノ程度ニ參ツタノデアリマスガ、是ハ當時ノ内地ニ於ケル米價ノ事情モ大ニ關係致シテ居リマシタノデ、内地ノ米價ガ相當安カツタノデアリマス、ソレデスカラ非常ナ差ガナクナツテ參リマシタ、ソレカラ御意見ニ

アリマシタヤウニ米ヲ商品トシテ國際的ニ取扱フヤウナ途ヲ作ツタナラバドウカ、其點ニ付テハ大ニ考ヘナケレバナラスト思ッテ居リマス、折角賣却致シマシテ販路ヲ得タ、其販路ヲ維持スルヤウナ見込デ以テ、極メテ僅カノ數量ヲ外國ニ繼續ト申シマス、市場ノ維持ノ目的ヲ以テ最近モ賣却致シタコトガゴザイマス、ソレデ前カラ昭和五年六年ニ互ツテ賣却致シマシタ數量ハ約百六十萬石餘リアルト思ヒマスガ、其後販路維持ノ爲ニ賣却致シマシタモノハ極メテ少量デアリマス、價格ハ内地ニ於ケル拂下米ノ程度ノ價格ト御承知ヲ願ツタ宜シイト思ヒマス、ソレカラソレヲ取扱ハセマシタノハ、内地ニ於キマスル外米ノ取扱ヲ致シテ居リマシタ店ヲ委託商ト致シマシテ取扱ッ

タノデアリマシテ、其數ハ相當ノ數デアリマス

○松山委員 一昨年秋カラ年末ニ掛ケタ頃ノ此日本内地ニ於テ拂下ノ米價ト、外國ニ賣ツタ米價トノ差ガドレ位ニナツテ居ルカ分リマセヌガ、其事ヲ一寸承リタイ

○荷見政府委員 今正確ニ記憶シテ居リマセヌカラ、是ハ調べテ後デ松山サンニ申上ゲルコトニ致シマス

○松山委員 此事ハ既ニ農林省ニ於テ御存知ノコトカモ知レマセヌ、或ハ御存知ナイナラバ斯ウ云フ事實ヲ注意シテ戴キタイ、ソレハ一昨年ノ暮頃ト私ハ記憶致シマスガ、政府ノ拂下米ヲ政府ノ委託ヲ受ケテ外國ニ輸出スルト言ウテ門司ヲ積出シタ船ガ、三日後ニ土佐ノ沖ニ現ハレテ、サウシテ其處デソレヲ賣拂ツタト云フコトデ相當ニ或ル社會ノ一部デハ騒イダコトガアルノデアリマス、斯ウ云フ事實ヲ當局ハ御存知デアリマス、若シ御存知デアルナラバ何カ處分ヲセラレタカ、若シ御存知デナイナラバ一ツ御取調ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ國民ニ非常ナ疑懼ノ念ヲ起サセ、又サウ云フ情報ハ人ガ好ンデ聞カウトスルコトデアリマスカラ、其事ニ付テ一應御尋致シテ置キマス

○荷見政府委員 私其御話ハ只今始メテ伺

フノデゴザイマシテ、大體外國ニ輸出致シマス米ハ、内地デ取引ヲ致シマスヤウナ依

裝ヲ致シタノデハ賣却ガ出來マセヌ、總テ

麻袋ニ入レマシテ、其容量モ四斗デハナク、

六斗位入ッテ居リマス、ソレデ外國ニ向ケル

ト云フヤウナ「マーク」ヲ付ケテ出スノデア

リマスカラ、内地ニ持ッテ來テ取引スレバ

極メテ明白ニ分ルコト、思ヒマスガ、ドウ

モ私共サウ云フコトガアッタト云フコトハ

承知致シマセヌシ、又ナカラウと思ッテ居リ

マス、ソレカラ其後賣却致シマシタ米ニ付

テハ、外國ノ商店カラノ受取、又向フノ證

明書ノヤウナモノモアリマスノデ、總テ取

引ノ爲替關係ノヤウナモノモ、爲替取引ヲ

幾ラデ向フデ取組ンデ、幾ラ何處デ拂ッ

カ、船賃ハ何處ノ會社ニ幾ラ拂ッタカト云フ

コトマデ詳細ニ調べマシテ、取引銀行カラ

何カラスッカリ合セタモノヲ、吾々ハ清算致

シテ居ルノデアリマスカラ、ソレ程ニ調子

ノ合フヤウナコトハ爲シ得ナイコト、考ヘ

テ居ルノデアリマス、左様デアリマスガ、

サウ云フ話デアリマスレバ何處ノ店デアリ

マスカ、念ノ爲ニ一應尋ネテハ見マスケレ

ドモ、ドウシテモ爲替ノ關係カラ銀行取引

關係、總テガ旨ク引付キ合ヒマセヌケレバ

イケナイノデ、スッカリ附合ッテ證憑ニ依ッテ

取引ヲ致シテ居リマスカラ、左様ナ事ハナ

カラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○松山委員 先日モ一寸私ガ御話申上ゲマ

シタヤウニ、朝鮮米ニ對シテ格下ト云フ事

實ガ今日市場ニ於テアルノデアリマス、私

共ノ聞及ンデ居リマス所デハ、東京ノ市場

ニ於テハ、同ジ等級ノ米ニ對シテ二圓カラ

二圓五十錢位ノ格下ガアリ、大阪ノ市場ニ

於テハ一圓カラ一圓八十錢バカリノ格下ガ

アル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザ

イマス、ドウシテ朝鮮米ノ格下ヲスルノカ

ト言ヘバ、商人ノ方デモ其理由ハナイト言

フノデス、何トナシニ斯ウ云フ風ニナッテ

來タノデアルト言フノデアリマス、私共ノ

承知致シテ居リマス所デハ、朝鮮米ヲ格下

ヲシナケレバナラヌト云フ理由ガ分ラナイ

ノデス、又此事ハ日本ノ米價ヲ壓迫スル、朝

鮮米ニ對シテ喧シク申シマスガ、此格下ト

云フコトガ日本米ヲ壓迫スル、之ヲ私共ハ

是非取除カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノ

デアリマス、何ガ故ニ朝鮮米ヲ格下シナケ

レバナラヌカ、嘗ッテハ朝鮮米ニハ砂ガ混ッ

テ居ルト云フ非難モ隨分アッタコトガゴザ

府ニ於テ、其監督ニ付テヤカマシク言ッテ、

嚴重ナ検査ヲ行ッテ、サウ云フヤウナ弊害ガ

無クナッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ此朝

鮮米ノコトニ付テ申シマス、先日來朝鮮

米ノ生産費ノコトニ付テ喧シク申サレマシ

タガ、私共ノ見ル所デハ、朝鮮米ト云フモ

ノハ、山林ガ荒廢ヲ致シテ居リマスルカ

ラ、自然朝鮮ノ河川ノ水ニ含ンデ居ル養

分ガ少イ、デアリマスルカラ肥料分ガ少

イ、ソレデ朝鮮ニ於テ米ノ増殖ヲ圖リマス

ノニハ、内地以上ニ肥料ニ付テノ注意ヲシ

ナケレバナラヌ、即チ金ガ掛ル、勞力ガ掛

ル、斯ウ云フ譯デアリマス、其數量ニ於テ

ハ朝鮮米ハ内地ニ及バヌガ、米ノ質ニ於テ

ハ日本米ヨリモ天惠ガ多イト私共ハ見テ居

ルノデアリマス、殊ニ秋ノ收穫時期ニ於ケ

ル天氣ノ非常ニ好イト云フコトノ爲ニ、寧

ろ日本ニ於ケル米ヨリモ、朝鮮ノ米質ハ宜

シイ、數量ハ少イケレドモ、米質ニ於テハ

朝鮮ニハ天惠ガ多イト宜シイト私共ハ見

テ居ル、此意味ニ於テ朝鮮ノ米ガ格下ヲセ

ラレル理由ハナイト私共ハ信ジテ居ル、朝

鮮總督府ノ検査ガ嚴重デアリマスルカラ、

同ジ米デモ本當ニ公平ニ見ルナラ、寧ろ朝

鮮ノ米ノ方ガ品質ニ於テハ上デナイカト、

私ハ思ッテ居ル位デアリマス、兎ニ角此朝鮮

米ノ格下ヲスルト云フ理由ハ是ハ商人ニ聞

イテモ無イト言ヒマス、ソレハ此間申シマ

スヤウニ、商人ガソレヲ買ウテ、サウシテ

日本米ト同ジヤウニシテ、ソレヲ賣ル商人

ノ間ニ儲ケサセルダケデアリマシテ、此事

ガ朝鮮ノ農家ヲ壓迫スル、今日朝鮮ノ農業

家ガ非常ニ困ッテ居ル、又ソレガ内地ノ米價

ヲ壓迫スル、斯ウ云フコトニナルノデアリ

マスカラ、此朝鮮米ノ格下ヲスルト云フコ

トガ市場ニ行ハレテ居ル商慣習ヲ禁止スル

意思ハアリマセヌカ、是ハ寧ろ農林大臣ニ

御尋スベキ事ト思フノデアリマス

○清家委員 私ハ議事ノ進行ニ付キマシテ

一言シタイト思ヒマス、只今ノ朝鮮米格下

ノ問題ハ私ハ一昨日出シタノデアリマスル

ガ、四時ニ委員長ガ止メト言ヒマスカ

ラ、遠慮シテ止メタノデアリマス、併シ此

問題ニ付テハ農林大臣一人デモイケヌト思

フノデアリマシテ、拓務大臣ニ出デ貰ヒタ

イト思フノデアリマス

○東委員長 拓務大臣ノ御出席ヲ要求シマ

シタガ、拓務大臣ハ少シ差支ガアッテ、今直

グ出ラレナイト云フ返事ガアリマシタ、ソ

レデ拓務大臣ハ適當ナ時機ニ必ズ出マス、

適當ナ時機ニ於テ許シマス

○清家委員 ドウゾ早ク願ヒマス

○東委員長 尙ホ農林大臣ハ貴族院ノ方デ各種ノ法案ガアルノニ、大變コチヲ方デ急イダ爲ニ參ラレテ居リマスカラ、成ベク農林大臣ニ質問ヲ御願シマス、若シ他ノ事務ノ事ナラバ、何時デモ聽カレルノデアリマスカラ、斯ウ云フ貴族院ノ方ニ各種ノ法案ガ出テ居ル際デアリマスカラ、ドウカサウ云フコトニ願ヒマス

○後藤國務大臣 松山君ノ私ニ御尋ニナタ點ニ付テ御答致シタイノデアリマスガ、御尋ノ趣旨ガ私ニ能ク分リ兼ネタノデアリマス、朝鮮米ガ内地ニ參リマス、取引所ナドノ扱デ格差ガ附イテ居ッテ、格下ヲサレテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、是ハ取引所ノ方デノ關係デサウ云フコトニナッテ居リマスガ、朝鮮米ノ正米ノ相場ヲ見マスト云フト、必ズシモソレニ拘ラズ隨分行ッデモ居リマサウナ譯デアリマス、ソレニ付テドウト云フ御尋デアリマスノカ、一寸私ハ諒解シ兼ネタノデアリマス

○松山委員 朝鮮米ニ付テ差別待遇ヲスルト云フコトヲ、取引所ナリ何カデヤッテ居ルノヲ禁止スル意思ガナイカト云フコト、是ハモウ極メテ重大ナ問題デアリマスカラ、ハッキリシテ御答辯ヲ求メルノデアリマス

○後藤國務大臣 此格下——格差ノ付ケ方ハ取引所デヤッテ居リマシテ、取引所ノ監督ヲスル方面ノ關係ノ事柄ニナッテ居リマシガ、内地ノ米ニ付キマシテモ御承知ノ通り色々ナ標準米ヲ設ケテ、米ノ色々ナ種類ニ付テ差ヲ付ケテ居リマス、隨テ矢張朝鮮米ニ付テモ格差ヲ付ケテ居リマス、殊ニ朝鮮米ノ是レマデノズツト進歩シタ狀況ニ依リマシテ、漸次ソレガ變化シテ參ッテ居ルヤウニ思ヒマスルノデ、別ニ差別待遇ヲ致シテ居ルト云フヤウナ譯デハナイノデアラウト思ヒマス

○松山委員 農林大臣ハ事實ヲ能ク御存ジナイヤウデスガ、併シ極メテ重大ナ問題デアリマスカラ、私ガ止メテモ、他ノ委員ガ此問題ニ付テハッキリシタ政府ノ御意見ヲ承ラナケレバ承知シナイ問題デアリマス、吾々ハ朝鮮米ガ内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フコトノ事實ノ中心ガ茲ニアルト見テ居ル、農林大臣ハ此事實ヲ能ク御存ジナイヤウデアリマスカラ、私ハ此事ニ付テ農林大臣ヲ追窮スルコトハ是デ止メマス、次ニ私ノ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイコトハ、今日ノ農林省ハ地主ヲ閑却シテ居ラナイカ、地主ヲ餘リニ閑却シテ居ラナイカト云フ點デゴザイマス、私共ノ見ル所デハ今日農村

ガ非常ニ疲弊困憊シテ居ル、農村ガ苦ンデ居ルト云フコトニ付テ、其一番困難ノ中心ハ何處カト云フト、地主ガ苦ンデ居ル、農村ノ地主ガ一番苦ンデ居ル、茲ニ私ハ一ツノ例ヲ御話申上ゲタイノデアリマスルガ、農林省ニ於テ其材料ヲ頂戴スルコトガ困難デアリマスノデ、私共民間ニ於テ自分デ調ベタ例ヲ茲ニ一ツ御話申上ゲマス、是ハ代表的ノモノニナルト思ヒマス、和歌山縣ノ山田村ト云フ所ニ於ケル實例デス、其處ニ於ケル一ツノ例ハ、二石五斗ノ收穫ノアル田地一段歩ニ對スル公租公課デス、之ニ對シテ地主ハ一石三斗五升ノ小作料ヲ小作人カラ取ッテ居リマス、ソレニ對スル公租公課ハ——是ハ一ツ速記ノ中ニ留メテ置イテ貰ヒタイト思ヒマスノデ、讀上ゲマスガ、地租ガ二圓二錢課ッテ居リマス、ソレカラ縣稅及ビ村稅ノ附加稅ガ四圓二錢課ッテ居ル、戶數割ハ三圓八十一錢課ッテ居ル、區稅ガ二圓二十八錢、農會費ガ五十六錢、水利費ガ三圓二錢、右ノ外家屋稅ガ六十錢、所得稅ガ九十八錢、以上合計致シマシテ一段歩ニ對スル公租公課ガ十七圓二十九錢ト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、之ヲ米一石ニ割當デマスト云フト、四圓二十九錢ト云フ數字ニナリマス、斯ウ云フ重イ公租公課ヲ

負擔致シテ居ルノデアリマス、サウシテ一石三斗五升ノ小作料ガ二十圓賣リマシテ二十七圓ニナリマス、サウスルト地主ノ所得ハ一段歩ニ付テ九圓何十錢十圓以下ニナリマス、私ノ郷里ノ方デハ、田地ノ少イ所デアリマスカラ、相當ノ小地主デモ宜イ所デスガ、五六町ノ田地ヲ持ッテ居ル者ハ、一段歩ニ付テ十圓トシテ五六百圓ノ收入デアリマス、所ガソレ位ノ家ニナリマスルト、子供ハ中學校ヘヤラナケレバナラス、中學校ヘヤルト一年ニ百五六十圓カラ、多イノハ二百圓位掛カル、娘ハ女學校ニヤラナケレバナラス、是ハ更ニ中學校ニ行クノヨリハ四五十圓ハ多ク掛カル、若シ高等專門學校以上ノ教育ヲ受ケサスベク、東京ニ出スナラバ、一ケ年一千圓ハ掛カリマス、斯ウ云フヤウナ狀態ニアルノデアリマシテ、到底子供ノ教育ハヤッテ行ケナイ、併シ今日ノ社會ノ實情ハ、娘ハ女學校ヲ卒業サセナケレバ、其家相當ナ所ニ嫁ニヤレナイ、ソレデアリマスカラ探算ヲ外レテ娘ハ女學校ニヤリ、息子ハ中學校ニヤルト云フ實情デス、此處ニ農村ノ地主ノ殆ド計算ヲ外レテシマッタ失望狀態ガ社會ニアルノデゴザイマス、ソレデ私共ガ見テ居リマスルノハ、今日ノ農村ノ疲弊困憊ト云フコトノ、一番困ッテ居

ル階級ハ、寧ロ地主階級デアル、全國一樣ニモ行キマスマイガ、却テ小作階級ノ能ク働ク人間ハ大抵二千三千ノ貯金ヲ致シテ居リマス、此地主階級ガ非常ニ困テ居ル、農村ノ疲弊困憊、之ヲ救フト云フコトデアルナラバ、之ニ著眼シナケレバナラス、勿論私共ハ地主階級ノ今日ノ状態ト云フモノハ極メテ不健全ナル状態デアルト思ヒマス、徳川時代ニ於テハ是等ノ者ガ皆百姓ヲ自分デシテ居ッタノデス、所ガ明治以後ニナツテ、怖イ階級ガナクナツテ、農民ガ解放セラレタト申シマスガ、皆小作人ニ渡シテシマツテ、百姓ヲシナクナツタト云フコトハ、洵ニ不健全ナル状態デ、茲ニ禍ノ元ガアルノデアリマス、ソレデ是等ノモノガ生キル道ハドウスルカト言ヘバ、自分ガ反省シテ、自分ノ土地ハ自分デ耕ス、本當ノ農民ニナルカ、然ラズンバ其土地ヲ小作人ニ讓渡シテ、其農村ノ中心カラ離レルカ、此二ツデナクテハナラヌト思ヒマス、ソレデ私共ハ此處ニ政府ガ農村ヲ救済スルト云フコトナラバ、此事實ニ著眼シナケレバナラヌト思フノデアリマス、今度農村匡救ノ土木事業、町村道路ト云フヤウナモノガヤラレマシテ、其四分ノ三マデハ、國庫ノ補助ヲ受ケルト云フコトデ、洵ニ一般ニ於テハ善政ト見

ラレテ居リマス、所ガ少シク事實ノ真相ヲ考ヘル者ハ、又憂ヘテ居ルノデス、ソレハドウ云フコトカト言ヘバ、四分ノ三ハ政府カラ補助ヲシテ貰フテ、是ハ有難イコトデアリマスガ、四分ノ一ハ地方ノ者ガ負擔シナケレバナラス、誰ガ負擔スルカ、誰モスル者ハナイ、地主ガ負擔シナケレバナラスノデアル、土木工事ガアルカラト言フテ地主ハ働キニ行カレナイノデス、面目上行カレマセヌ、シヤベルヲ持ッテ土工ニ行クコトハ出來ナイノデアリマス、地方ニ金ガ落チレバ購買力ガ増シテ、商人階級ガ繁昌シマス、地方ノ商人階級ガ繁昌シマス、ソレガ延イテハ工業力ガ増加シマス、併シ地主ハ何ノ恩惠モ受ケナイ、而シテ其四分ノ一ハ誰ガ負擔スル、ソレハ地主ガ負擔シナケレバナラス、サウスルト農村匡救ノ土木事業ト云フモノニハ、却テ困ッテ居ル地主ニ負擔ヲ掛ケル、與フル所ナクシテ、負擔ヲ掛ケル、斯ウ云フヤウナコトニナルノデアリマス、モウ今日ノ地主ハ非常ニ憐ハレムベキ状態デアル、然ラバ今申シマスマウニ、政府ガモウオ前等ハ合理的デナイ生活ヲ致シテ居ルノデアルカラ、農村ハ立去ルベキモノダトスルナラバ、立去ル方法ハ自作農創定デアル、政府ハ此事ニ付テハ徹底的

ニ彼等ガ農村ヲ立去ルコトヲ考ヘテヤラナケレバナラス、所ガ政府ハ千五百圓ノ簡易保險ノ金ヲ辛ウジテソレニ供給シテ居ルノデアツテ、到底吾々ハ之ニ於テ徹底シテ政策ヲ認ムルコトガ出來ナイ、彼等ハ農村ヲ去ルコトガ出來ナイ、然ラバ負擔ヲ輕クシテヤラナケレバナラス、今申シマスマウニ茲ニ帝國農會カラ貰フタ表ガアリマスガ、之ニ依リマスト一千二百圓位ノ收入ノアル地主、ソレノ收入ニ對シテハ公租公課ヲドレダケ負擔シテ居ルカト云フト六十一・八%負擔シテ居ル、自作農者ハドレダケ負擔シテ居ルカト申シマス、二十一・六%負擔シテ、ソレカラ物品販賣業者ハ十五・六%製造業者ハ十六・五%負擔シテ居ル、物品販賣業者ニ對シテ三四倍以上ヲ負擔シテ居ル、此地主ノ過重ナル負擔ニ對シテ、之ヲ輕減スル方策ヲ講ジテヤラナケレバナラナイ、而シテ私ハ茲ニ今米價問題ニ付テ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマスコトハ、政府カラ茲ニ配付サレタ米ノ生産費ノ計算ト云フノガアリマスガ、此中ニハ自作農家ノ米ノ生産費ト云フモノガ茲ニ出テ居リマス、小作農家ノ米ノ生産費モ出テ居ル、ソレハ昭和七年度ニ對シテハ二十圓八十七錢ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、

所ガ地主階級ノ者ニ關係スルモノハ全ク閑却セラレテ居ルノデアリマス、茲デ私共ノ考ヘル所デハ、地主階級ノ米ノ生産費ノ計算ノ中ニ考慮ヲ加ヘル必要ハナイカ、ソレハ是非考慮ニ加ヘテヤラナケレバナラスモノト思フ、勿論不合理ナ生活ヲシテ居ルト云フ、責ムベキコトハアリマセウ、ソレハアリマセウケレドモ、今日現實ニ是ガ今日ノ農村ニ存在スルノデアリマス、而シテ所謂中産階級トシテ、今日マデ過去ニ於テハ日本ノ社會ノ最モ大事ナ部分ヲ負擔シテ來タ階級デアリマス、或ハ是ハ明治初年ノ士族ノヤウニ減ビ行ク階級デアルカモ知レマセヌ、私ハ今日斯ウ云フヤウナ不合理ナ計算ヲ超越エテ、此農村ノ子弟ガ東京ニ勉強ニ來ル、採算ヲ度外視シテ勉強ニ來ルト云フコトハ、彼等ハ既ニモウ農村ニハ居ラレナイ、農村ノ一分子トシテハ減ビ行ク階級デアアル、茲ニ一ツ職業ノ轉換ヲシヨウト云フ考カラ、農村ニハ居レナイカラシテ東京ニ勉強ニ來ル、是ハモウ普通ノ採算ヲ越エテ、サウシテ東京ニ親モ子弟ヲ勉強ニ來サセルシ、子弟モ亦爭ッテ勉強ニ來ル、サウシテ其勉強シテ結果ハドウカト云フト、就職スルコトガ出來ナイ、失業ト云フコトハ、是ハ社會上重大ナ事實ダト思ッテ居ルノデ

ス、彼等ハ最モ社會ノ穩健ナル分子デアリ
マスカラ、今ハ黙ッテ忍シデ居リマスケレド
モ、是モ或ル程度以上ニ彼等ヲ壓迫スレ
バ、ドウ云フコトガ起ッテ來ナイデモナイ
ト私ハ思フノデアリマス、如何ニ彼等ガ今
日ハ不合理ナ生活ヲシテ居リマシテモ政治
トシテハ——今日ノコトヲ考ヘル政治トシ
テハ彼等ノコトヲ考慮ニ入レテヤラナケレ
バナラスト思ヒマス、然ルニ農村ノ一番大
事ナ要素デアル所ノ米ノ生産費ノ計算ニ於
テ、地主階級ノコトヲ考慮ニ入レテ居ラヌ
ト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ナイコト、思
フノデアリマス、茲ニ私ノ考ヲ申上ゲマ
スルナラバ、地主階級ヲ考ニ入レル場合
ハドウカト云フト、地主ト小作人ガ兩方
合シテ地主ハ土地ヲ提供シ、サウシテ租
税公課ヲ負擔スル、小作人ハ勞力ナリ
肥料ナリヲ提供シテ、ソレデ米ヲ生産シ
テ居ルノデアリマス、此兩者ヲ合シテ考
ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、即
チ私ノ考デハ、農林省ノ御配付下サツタ此
表ノ小作農家ト云フ欄ノ中ニ種粃代二十三
錢、勞賃ガ七圓六十八錢、畜力費ガ五十二
錢、肥料代ガ二圓六十四錢、農舍費ガ三十
六錢、農具費ガ十九錢、諸材料費ガ一圓二
十八錢、次ニ租税其ノ他ノ公課——地主ノ

負擔シテ居リマス所ノモノ、此處ニ私ガ先
程申シマシタ和歌山縣山田村ノ例ヲ申シマ
スナラバ、一石ニ付テノ公租公課ト云フモ
ノハ四圓二十九錢、此四圓二十九錢ヲ加ヘ
ル、ソレカラ土地資本利子ト云フモノガ、
自作農家ノ方ニ於テ八圓十三錢トナッテ居
リマス、此八圓十三錢ト云フモノヲ之ニ加
ヘル、斯ウ云フコトニ致シマスナラバ、米ノ
生産費ト云フモノガ二十三圓九十四錢トナ
ルノデアリマス、農林省ノ小作農家ノ計算
ニ於テハ、二十圓八十七錢トナルモノガ、
二十三圓九十四錢ト云フモノニナルノデゴ
ザイマス、今申上ゲルヤウナ例ニ於テ計算
ヲ致シテ見マス、地主ガ土地ヲ出シテ居
ルノニ對シテ、先程申シマシタ二石五斗ノ
收入ノ中デ、地主ガ一石三斗五升收入スル、
ソレガ石二十圓ト計算致シマシテ二十七圓
トナル、其二十七圓カラ十七圓二十九錢ノ
租税公課ヲ引キマス、九圓七十一錢ト云
フモノガ地主ノ所得ニナル、是ガ土地ヲ提
供シテ居ルノニ對スル一段歩ノ所得ニナリ
マス、小作人ノ所得ハ一石一斗五升ニ對シ
テ、石二十圓トシテ二十三圓デアリマス、
ソレカラ今申シマス農林省ノ調査セラレ
タ表ニ掲ゲテ居リマスル合計十三圓〇五錢
ト云フモノヲ是カラ引キマスルト、九圓九

十五錢ト云フモノニナル、即チ小作人ガ勞
力ヲ提供シテ居ルノニ對シテ九圓九十五錢
ノ收入、地主ハ土地ヲ提供シテ居ルノニ對
シテ九圓七十一錢ノ收入デアアル、斯ウ云フ
コトニナルノデアリマスカラ、是ハ考方ニ
依ッテ、其分配ガ色々アリマセウケレドモ、
先ヅ是レ位ノ見方ニ依レバ宜シキヲ得テ居
ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、
斯ウ云フヤウナ狀況ノ下ニ於テ判斷ヲ致シ
マスナラバ、此地主ト小作人トガ合作デ米
ノ生産ヲヤル、サウシテ其利益ヲ兩者ガ分
配スルノデアアル、斯ウ云フヤウナ見地カラ
之ヲ見マス、今申シマスヤウニ、米ノ生
産費ガ二十三圓九十四錢、斯ウ云フヤウニ
ナルノデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ノ
御意見ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 地主、殊ニ中小ノ地主ハ
負擔ノ過重ニ苦シンデ居ルト云フコトノ其
程度如何、其割合ハドウデアアルカト云フコト
ニハ、色々意見ガアルヤウデアリマスケレ
ドモ、過重ニ苦シンデ居ルト云フ事實ハ左
様デアルト思ヒマス、隨テ農村不況ノ一ツ
ノ大キナ原因ガ、此點ニ存在シテ居ルコト
モ認メザルヲ得ナイト思ヒマス、之ヲ匡救
スル途ハ、主トシテ矢張負擔ノ公正ヲ圖ル
ト云フコトニ據ラナケレバナライノデア
リマス、ソレヲ緩和スル爲ニ、地主ダケガ
負擔スル公租公課ヲ米ノ生産費ニ加ヘルト
云フコトハ、ドウトモ申上ゲ難イ問題デア
ルト思ヒマス、小作料ガ米ノ生産ニ要スル
土地ノ代價トシテ拂ハレテ居ル場合ノ生産
費ヲ見ル時ニハ、ソレヲ見テ參ラナケレバ
ナラスト思フノデアリマス、其小作料ヲ取ッ
テソレヲ地主ガ金ニ代ヘテ色々負擔、公
課ニ應ジテ行クト云フコトニ苦痛ガアルト
シマスレバ、其點ガ救済ヲシナケレバナラ
ヌモノデアラウト思フノデアリマス、ドウ
モ米ヲ生産スル人デナク、小作料ダケヲ取ッ
テ居ル地主ガ、其小作料ヲ取ッタ爲ニ世ノ
中ノ色々ノ負擔ヲ生ジテ來ル、其負擔ヲ土
地ニ割當テ、見テ、ソレヲ米ノ生産費トシ
テ勘定シテ行クト云フコトハ、ドウモ一寸
考ヘヤウノナイコトノヤウニ思ヒマス

○松山委員 此事ニ付テハ全然農林大臣ト
私トノ考方ハ違ヒマス、併シ農林大臣ノ御
考ハ足ラスト思フノデスガ、モウ一遍能ク
後デ御考ヲ願ヒマス、御參考ノ爲ニ申上ゲ
マス、私ノ計算法ニ依リマス、租税其他
ノ公課ト云フモノハ四圓二十九錢ト見テ、
土地資本利子ガ八圓十三錢ト見ル、之ヲ合
セテ十二圓四十二錢デアリマス、農林省ノ
與ヘラレテ居ル小作農家ノ米ノ生産費ヲ割

出ス要素ニナッテ居リマス小作料ト云フモノハ九圓三十五錢ニナッテ居ル、其差ガ玆ニ三圓七錢ト云フモノガアル、是ガ先程申シマス米ノ生産費ニ差ノ生ジテ來ル所デアリマシテ、私共ハ今日最モ困ッテ居ル此農家ノ實情ヲ顧ミナイ農林省ノ仕方ニハ、全ク同意ヲスルコトガ出來マセヌガ、此事ニ付キマシテハ何レ又他ノ方法ニ依ッテ私共ノ意見ヲ發表スル機會ガアラウト思ヒマス、是ニ於テ私ハ自作農ト、地主トノ合作ノ下ニ於テ米ノ生産費ヲ考ヘテ下サイト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、自作農家ノ米ノ生産費、ソレガ偶然ニモ小作農ノ米ノ生産費二十圓八十七錢ト云フモノト合致シテ同ジ値段ニナッテ居ルノデアリマス、私共ノ甚ダ不審トスルコトハ、租稅其他ノ公課ト云フモノガ一圓七十九錢トナッテ居ル、所ガ玆ニ私共ハ農林省ニ於テ餘リ好イ材料ヲ得ラレマセヌノデ、已ムヲ得ズ帝國農會ノ提供サレタ此表ヲ用ユルノデアリマシマス、ソレニ依リマス、一石ニ對スル公課ト云フモノガ昭和七年度ハ二圓九十七錢、昭和六年度ハ三圓三十五錢、昭和五年度ハ三圓三十三錢、昭和四年度ハ三圓六十五錢、其前年ハ三圓八十六錢、其前年ハ四圓八錢、其前年ハ四圓十錢ト云フヤウニ、昭和元年

以來皆斯ウ云フ風ニナッテ居ル、今年ガ最モ少イモノデモ二圓九十七錢ト云フコトニナッテ居ル、ソレヲ農林省ガ租稅公課ト云フモノヲ僅カ一圓七十九錢ヨリ見テ居ラナイト云フノハ、ドウ云フ根據ニ依ッテ御算定ニナッタノデアリマス、ソレヲ聞カシテ戴キタイノデアリマス

○後藤國務大臣

細クハ米穀局長カラ御答致シマス、御手許ニ差上ゲタ調査ノ表ハ、調査ノ中ノ一二ノ例デアルト思ヒマス、ソレト農會ノ調べタモノト、——農會ガ同ジ場所ニ付テ、同ジヤウニ調べタモノデ比較ヲサレルトモウ少シ話ガ綿密ニナッテ居ルト思ヒマス、無論公租公課ノ取り方ニ付テモ、是迄ノ規則ニ依ッテ取ッテ居リマスル方法ト、農會ノ調べタ方法トハ違ッテ居ルノダト思ヒマス、殊ニ一二ノ事例デアリマスカラ、ソレト比較シタノデハ直ニ何トモ御答ノ仕様ガナイ譯デアリマス、尙ホ私ノ言ッタコトデ足ラナイ點ガアリマスレバ米穀部長カラ申上ゲマス

○荷見政府委員

只今ノ松山サンノ御話ハ、今農林大臣ガ御話ニナリマシタ通りニ、私共ノ方カラ差上ゲデアッタノハ千三十戸ノ中ノ一自作農家、一小作農家ノ實際ノ實例デゴザイマス、帝國農會ノ方カラドノヤ

ウナモノガ御手許ニ參ッテ居リマスカ私ハ承知致シテ居リマセヌガ、何レ帝國農會デ生産費調査ヲ致シマシタ結果ノ全國ノ平均ヲ取ッテ居ルノデアラウト思ヒマスカラ、大體御述べニナッタ通りノモノデアラウト思ヒマス、唯租稅ノ取方ニ付キマシテ、是マデ此委員會デモ色々御議論ガアルノデアリマスガ、吾々ノ方デ取ッテ居リマスノハ、段當リノ調査ガ、租稅公課ハ本年ハ四圓十九錢ニナッテ居リマス、ソレカラ今御話ノ、金額ヲ御讀上ゲニナッテ居リマスノハ、石當リノモノデアリマス、段當リノモノデアリマスカ、私能ク伺ヘマセヌデシタガ……

○松山委員

今申シマシタノハ帝國農會トシテノ石當リノモノデアリマス

○荷見政府委員

石當リノモノデアリマスト、私共ノ方カラ差上ゲマシタモノハ自作農ガ一圓七十九錢ト云フコトニナッテ居リマス、ソレハ租稅其他ノ公課ノ中デ、帝國農會ノ方ト、私共ノ方ノ調査ト違ッテ居リマスル分ハ、戸數割ト、部落費ト云フモノヲ帝國農會ノ方デハ計算致シテ居リマスガ、私ノ方デハ計算致シテ居リマセヌカラ、其點デ幾分差異ガアルコトハ明カト思ヒマスガ、御話ノヤウニ多分ノ差異ガアルノデアアルカドウカ、是ハ吾々ノ方ト致シマシテモ

○松山委員

先程私ガ和歌山縣山田村ノ例ヲ申シマシタガ、ソレニ依リマスルト、一段歩當リノ戸數割ハ三圓八十一錢デアリマス、ソレカラ部落費ト云フモノハ、是ハ玆

全部ヲ計算致シテ見マセヌケレバ判然致シマセヌ、唯戸數割ト云フモノガ全部稻作ガ負擔スベキモノデアアルカドウカ、是ハ大ニ疑問ノアル點デアリマス、ソレカラ部落費ノ中デモ稻作ガ負擔スベカラザル額モアルト思ヒマス、是等ノ分ケ方ニ付キマシテハ、正確ナル標準ハ只今生産費調査ヲ致シテ居リマスルドチラノ方面ニモナイト思ヒマス、分ケテ居ルト致シマスレバ、粗收入關係デ、例ヘバ畝ヲ裏作ニハドレダケ使フカ、稻作ニハドレダケ使フカ、鎌ヲ稻作ニハ何ボ使ッタモノト見、麥作ニハ何ボ使ッタモノト見ルカト云フヤウナ種類ノ、詰リ大摺ミノ分ケ方ニ外ナラナイト思ヒマス、其程度ハ帝國農會デドウヤッテ居ルカ、私共ノ方デハ判然シテ居リマセヌ、唯斯ウ云フモノヲ含ンデ居リマセヌノト、ソレカラ只今御話ニナリマシタノハ、一二ノ實例デアリマシテ、全部ノモノデアリマセヌノデ、御話ノ通りノ差ガアルカドウカハ、此處デハ直ダ算出スルコトハ出來マセヌケレドモ、相當ノ差ガアルダラウト思ヒマス

○松山委員

先程私ガ和歌山縣山田村ノ例ヲ申シマシタガ、ソレニ依リマスルト、一段歩當リノ戸數割ハ三圓八十一錢デアリマス、ソレカラ部落費ト云フモノハ、是ハ玆

ニ區費ト出テ居リマス、部落協議費トカ特色言ヒマスガ、是ダラウト思ヒマスガ、二圓二十八錢デアリマス、之ヲ兩方併セマスト六圓九錢ト云フモノニナルノデアリマスカラ、今米穀部長ガ言ハレタヤウニ、幾分違ウダラウト云フヤウナソシ小サイモノデハナイ、非常ニ大キナ數字ト思フノデアリマス、少クトモ帝國農會ガ之ヲ全部加ヘタモノガ當ラ得テ居ナイトスルナラバ、農林省ガ全部之ヲ削除シタコトモ當ラ得テ居ラナイト考ヘルノデアリマス、少クトモ農家ノ收入ノ大部分ハ米作デアル、ソレナラバ米作ガ之ヲ負擔スベキモノデアル、今申シマシヤウニソレヲ分ケルニシテモ、ソレヲ農林省ガ削除シテシマウタト云フコトハ當ラ得テ居ラナイト思フノデアリマス、尙ホ附加ヘテ申シテ置キマスガ、之ヲ要スルニ、是レ以上言争ッテモ仕方アリマセヌガ、私共ハ農林省ノ生産費ノ計算ト云フモノニハ極メテ遺憾ナ點ガ多イ、農家ノ立場カラ考ヘテ甚ダ疎漏ナ生産費デアル、農家ノ殆ド生命線トモ言フベキ米價ノ問題ニ付テ甚ダ考方ガ疎漏デアルト云フ點ダケヲ申上ゲテ、私ノ此事ニ付テノ質問ハ止メテ次に進ミタイト思ヒマス

次ニ運賃諸掛ノ問題デアリマス、是ハ一

ツ御意見モアリマセウガ、極ク冷靜ナ頭デ技術家ノヤウナ頭ニナッテ冷靜ニ考ヘテ戴キタイ、生産費ト云フモノハ庭先ニ於ケル實際掛ツタ費用デアル、ソレヲ買上ゲル所ハ、ソレト農業倉庫ノ在ル所デ之ヲ買上ゲル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、其間ノ運賃諸掛ハ最低價格ノ上ニハ必ズ加ヘナケレバナラヌモノト私ハ思フノデアリマス、是ガ若シ米ヲ商品ト見テ其運賃諸掛ヲ生産費ノ中ニ加ヘテ居ルト云フコトニナレバ、私共ハ此處デ納得スル、加ヘナイト云フコトニナレバ、是ハ法律ノ明文ノ中ニ現ハシテ置カナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、先日モ質問應答ノ場合ニ、政府ハ運賃諸掛ハ經濟事情ヲ參酌スルト云フコトノ中ニ加ヘルト言フ、併シ私ノ考デハ——普通ニ之ヲ解釋スルナラバ、經濟事情ヲ參酌シテト云フノハ今申シマス爲替相場ノ關係ダトカ、他ノ色々ノ世間ノ事情ヲ言フノデ、浮動スル性質ノモノデアル、運賃諸掛ノヤウナ必ズ加ヘナケレバナラヌモノハハッキリ明文ニ現シテ置ク必要ガアル、何トナレバ今ノ農林大臣ヤ米穀部長ハ永久ニ居ラレルノデハナイ、何時モ私共ハ陳情ニ行ッタ時ニ能ク言ハレルコトハ、吾々ハ白紙デ法文ヲ解釋スルヨリ仕方ガナイ、以前ニド

ウ云フコトヲ言ツタカ知ラスガ、吾々ハ知ラス、斯ウ云フコトヲ言ハレル、是ハ少イ金デハナイ、此間モ話シタ、二圓三十九錢ニナッテ居ル、帝國農會ノ此表ニ、例ヘバ昭和七年度ノ米價、中米標準調査ト云フモノハ二十二圓六錢ニナッテ居ル、サウシテ一石ノ庭先相場ト云フモノハ十九圓八錢ニナッテ居ル、其間ニ於テ約三圓ハ運賃諸掛ニナルノデアル、是ハ中々少イモノデハナイ、農家ニシテハ三圓米價ガ違フ、二圓五十錢違フト云フコトハ非常ナモノデアアル、全國ノ農家ニ至ッテハ——窮乏ノ極ニアル農家ニ取ッテハ非常ナモノデアアル、ドウシテモ私共ハ是ガ生産費ノ中ニ加ヘラレナイト云フ解釋ヲ固執セラレルナラバ——農林省ガ之ヲ固執セラレルナラバ、私共ハドウシテモ、是ハ法律ノ文面ノ中ニ、經濟事情ヲ參酌シテト云フ手心ノヤウナモノニ任シテ置クコトハ出來ナイ、是ハ極メテ重要ナ問題、又極メテ明瞭ナル問題デアリマスカラ、政府當局ノ御意見ハ大體モウ此間ノ他ノ同僚諸君ノ質問ニ依ッテ分ッテ居リマスクレドモ、モウ一度農林大臣ノ御言明ヲ願フノデアリマス

○後藤國務大臣 此點ニ付テハ度々申シテ居リマスルガ、一定ノ調査方法ニ依リマシ

テ全國ニ互ッテ澤山ナ生産費ヲ調査致シマシテ、其調査ニ依ッテ出テ參リマスル庭先ノ計數ガ出テ來ルノデアリマス、之ニ運賃諸掛ヲ加ヘテ其米ノ生産費ヲ計算スルト云フコトハ、ドウモ考ヘヤウノナイコト、思ッテ居ルノデアリマス、然ラバ運賃諸掛ノ關係ヲドウ見タラ宜シイカ、是ハ何等カノ方法ガアレバ、運賃諸掛ト云フモノガ玆ニ存在シテ居ルノデアッテ、ソレガ自ラ庭先相場ト集散市場ニ於ケル相場トノ間ニ或ル開キヲ持ッテ來ル原因ヲ成スデアラウト云フコトヲ考ヘルノデアリマスカラ、之ヲドウ云フ工合ニ考慮シタラ宜シイカト云フコトハ、是ハヤハリ宜イ加減ニ唯目分量デ考慮スル譯ニハ參リマセヌ、ヤハリ何等カ一定ノ計數ヲ求メテ、ソレニ加ヘルモノヲ出シテ來ナケレバナラヌ、此事ニ付テハ曩ニモ屢々申上ゲマシタヤウニ、從來生産費ノ計算ノ方法ヲ考究ラシタ際ニモ、大分考ヘラレタ問題ノヤウデアリマスクレドモ、ドウモ的確ナ方法ガ得難イ、非常ナ遠距離カラ持ッテ來ル米デアッテモ、又市場ノ直グ側カラケレバナラヌモノデアリマスガ、其運賃諸掛ハ非常ナ相違ガアルノデアリマス、近イ所ハ運賃諸掛ハ格外ニ掛ラナイ、遠イ所ハ

金錢計算シマスレバ非常ニ大キナモノニナル、然ラバ茲ニ一ツノ最低價格、公定ノ價格ヲヤッテ見ル場合ニ、其公定ノ價格ハドノ米ノドノ價格ト云フ譯デハアリマセズデ、抽象的ニ出テ來ルノデアリマスカラ、ソレヲ重要ナ標準トシマシテ茲ニ今日公定價格ト云フモノヲ決メマス場合ニ、其公定價格ヲ以テ、指定シタ市場デ米ヲ其値段デドシノ買上ゲテヤラウト云フノデアリマスカラ、運賃諸掛ト云ッタヤウナモノヲ基礎ニシタ觀念カラ、ドンナモノヲソレニ加ヘタラ宜シイカト云フコトハ、餘程考究ヲ要スル問題デアリマス、ソレハ十分ニ考究ヲシテ見タイト思ッテ居ルノデアリマ

○松山委員

此處ニ是亦帝國農會ノ與ヘラレタル表デアリマスルガ、過去ニ於ケル事實デスカラ是ハ間違ナカラウト私ハ信ジテ宜カラウト思フノデス、昭和七年度ニ於ケル庭先相場ハ十九圓八錢デス、ソレニ對シテ米一石ノ生産費ガ二十一圓八十三錢、即チ庭先相場ハ米ノ生産費ヨリ一圓以上モ安イノデアリマス、昭和六年度ニ於テハ庭先相場ハ十六圓七錢デス、ソレニ對シテ米一石ノ生産費ハ二十二圓九十九錢デス、即チ茲ニ殆ド七圓モ差ガアル、昭和五年度ニ

於テハ生産費ガ二十六圓ニ對シテ、庭先相場ガ十七圓八十錢、其前ノ年ニハ二十六圓三十八錢ノ生産費ニ對シテ二十七圓十二錢、其前ノ年ニハ二十八圓四十一錢ノ生産費ニ對シテ、庭先相場ガ二十七圓八十七錢、其前ノ年、即チ昭和元年ニハ二十九圓四十四錢ノ生産費ニ對シテ、庭先相場ガ三十圓四十八錢、此昭和元年以來ノ米價ノ推移ヲ見テモ、生産費ニ對シテ運賃諸掛ガ加ヘラレテ居ラナイ、事實上生産費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタモノガ實際ノ米價ニハナッテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ點ヲ考ヘマシテモ、私共ハドウシテモ此運賃諸掛ト云フモノヲ生産費ノ上ニ加ヘルト云フコトヲ明記シテ置カナケレバナラヌコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、唯其意ダケヲ申上ゲテ置キマシテ、私ノ話ヲ次ニ進メマ

今申上ゲマシタ數字ニ依ッテモ、米價ノ動キハ生産費ヲ中心トシテ、大部分ハソレヨリ下ヲ行ッテ居リ、極ク稀ニ其上ヲ動イテ居ルノデアリマシテ、米ノ庭先相場ト云フモノハ、生産費ヲ中心トシテ動イテ居ルノデアリマス、所ガ生産費ト云フモノハ米價ノ最低ノモノデナケレバナラヌ、農家ノ堪ヘ得ル最モ底ノモノデナケレバナラヌ、ソレ

デアルカラ、實際ノ庭先相場ト謂フモノハ、ソレヨリ高クナラナケレバナラヌノデアリマス、即チ私共ハ茲ニ適當ナル標準米價ナルモノヲ立テ、置ク必要ガアルト思フノデアリマス、私ノ考デハ、農家ノ家計米價カラ出テ參リマシタ所ノ最高價格ト、最低價格、生産費カラ割出シタル所ノ平均ノ價格ヲ以テ此標準米價トスル、サウシテ政府ハ其季節的調節ヲ爲ス標準トシテ——勿論其處ニ世上ノ經濟事情ト云フモノヲ參酌シテ、手心ハアリマセウケレドモ、其標準米價トシテ、私共ハ此最低ト最高トノ平均ノ米價ヲ以テ、標準價格トスルコト云フコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、此儘ニ抛ッテ置ケバ、常ニ此農民ノ最モ苦痛トスル生産費其モノヲ見マシテモ、其生産費ト云フノハ、既ニ平均デスカラ、半分ノモノハ其生産費ヨリ上ニアルケレドモ、半分ノモノハ其生産費ヨリモ、高イ生産費ガ、實際ニ掛ッテ居ル譯ナンデアリマスカラ、全國ノ農民ノ半分ハ、其生産費以下デ買取ラレト云フコトニナッテ居ル道理ナノデアリマス、此生産費ヨリ以下ニ下ッテハナラナイ、所ガ實際ニ此儘抛ッテ置イテハ、常ニ此米價ト云フモノハ、生産費ヲ中心トシテ動ク、斯ウ云フコトニ事實ナッテ居ルノデアリマス、此意味

ニ於テ私共ハ政府ハ、最高ト最低ヲ決メテ置イテ、其間ニ季節的調節ヲヤル、ソレハ時價ニ依ッテ政府ハヤルト言ッテ居ルガ、其季節的調節ヲヤル標準ト云フモノハ、或一ツノ適當ナ標準價格ト云フモノヲ定メテ、ソレヲ中心トシテヤル必要ガアルト私共ハ考ヘル、其標準價格ハドレニスルカト言ヘバ、今申上ゲマシタヤウニ、最高ト最低ノ平均價格ヲ以テソレハ適當デアルト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣

新統制制度ニ關聯シテ、政府ノ考ヘテ居リマスル所ト餘程違ッテ御意見ヲ御持チノヤウデアリマスカラ、ドウモ其御意見ニ對シテ直チニ私所見ヲ申述ベ兼ネルノデアリマス、或ハ米價ト云フモノヲ、殆ド一ツノ理想米價ト云フモノヲ茲ニ考ヘテ、ソレヲ維持シテ行クト云フヤウナ政策ヲ執ッタナラバ宜イデヤナイカ、(一)聞エマセヌト呼フ者アリ(二)サウ云フコトヲ考ヘテ見マスト云フト、更ニ進ンデ適當ナ米ノ專賣ト云フヤウナ制度ヲ考ヘテ見ナケレバナラヌコトニ直グ近付イテ居ルヤウナ御議論デハナイカト思ヒマスガ、今日ノ實情ニ於テ實行シテ行ク行キ方トシテハ、只今ノ新統制制度ニ依ル外ハアルマイト思ヒマス、ド

ウモ只今ノ御意見ニ付テハ餘程根本ニ遡ッテ、色々ナ點カラ論ジテ參リマセスト、ハッキリシタコトヲ今申上ゲルコトニ參リ兼ネマス

○松山委員 私共ハ米ノ專賣ニ行カナイデ、成ベク此米穀統制法デ行キタイト思フカラ、今言フ意見ヲ述ベタノデアリマス、只今ノヤウナ遣リ方デハ結局專賣ニ行カナケレバナラヌコトニナルカラ、成ベク今度ノ政府ノ御出シニナッタ米穀統制法デ行キタイト此意見ヲ述ベルノデス、併シソコニ意見ノ相違ガアルヤウデアリマスカラ、此以上ハ私ノ意見ハ申述べマセヌ——私ハ委員會ニ於テ朝鮮ノ產米増殖計畫ガ大分問題ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、朝鮮ノ政務總監ト拓務大臣御列席ノ上デ、此問題ニ付テ質問シタイノデアリマスガ、居ラレマセスカラ、後ノ機會ニ保留サシテ戴キマシテ、私ノ質問ハ此程度デ打切ルコトニ致シマス

○土井委員 稅ハ議事進行ニ付テ——ソレハ農村問題ニ最モ關係ノ多イ問題デアリマス、即チ米ノ統制ト謂ヒ、米價ノ維持ト謂ヒ、悉ク農家ノ收入ノ増加ヲ圖リ、購買力ヲ増進スルト云フコトニ力ヲ御盡シ下サッテ居ルコトハ敬意ヲ表スル次第デアリマス

ガ、ソレノミヲ以テシテハ農家ノ購買力ノ培養トナラヌ、ドウスルカト言ヘバ現在六十億ノ負債ト云フモノガアル、之ヲドウスルカ、是ガ非常ナ問題ニ昨年カラ相成ッテ居ッタノデアリマス、ソコデ總理大臣竝ニ農林大臣ニ於カセラレマシテハ、必ズ今期議會ニ負債整理組合法案ヲ出スト御言明ニナッタノデアリマス、所ガ此頃新聞ヲ見マスト、ドウヤラ妙ナコトニナッテ、或ハ御提案ニナラヌヤウナ雲行ノヤウニモ見エルノデアリマス、果シテ如何様ニ相成ッテ居ル

ノデアリマセウカ、今期議會ニ御提出ノ御見込無キヤ否ヤ、此點ヲ御伺致シマス、私ノ質問ハソレダケデアリマス

○後藤國務大臣 負債整理ニ關スル法案ハ、前ノ臨時議會ニ出シマシテ、御承知ノ通りナ歸結ヲ見タノデアリマス、更ニ今度ノ議會ニモ出來ル限り、吾々ガ實行ノ上ニ於テ宜シカラウト思フ案ヲ出スト云フ積リデ、今進行シテ參ッテ居リマス、遠カラザル内ニ政府ノ議ガ纏リマスレバ出シタイ積リデ、今折角其議ヲ練ッテ居ルヤウナ譯デアリマス

○土井委員 サウシマスレバ確カニ出サレルノデセウカ、其確カナ所ハ言ヘヌノデアリマセウカ、實ハ忌憚ナク言フナラバ、完

璧ヲ期スルト云フコトハ或ハ困難カモ知レマセヌ、必ズシモ完璧デナクトモ、頭ダケデモ御出シ下サルコト云フコトハ、農民ニ向ッテ前途ニ光明ヲ與ヘルコトデハナイカト思フノデアリマス、餘リヤカマシク言フテ、小田原評定ニ終ラスト云フヤウニナッテハ如何デアラウカト思ヒマスガ、確カニ御出シ下サルデセウカ、(「サウ云フ言葉ハ慎ンデ下サイ」ト呼フ者アリ)小田原評定ト云フ言葉ガ惡ケレバ、ソレハ取消シマス

○後藤國務大臣 只今御尋テアリマスガ、中々小田原評定ドコロノ騒ギデハナイノデアリマス、眞劍ニヤッテ居マスノデ、農林當局トシテハ是非モット早く出シタイト努力シテ來テ居リマス、併シ色々ナ事情ガアッテ、ドウモ思フヤウニ行キマセヌ、其事情ハ一寸今此席デ申上ゲ兼ネマスガ、出來ルダケ早く政府ノ議ヲ纏メタイト思ッテ居リマス

○清家委員 私ハ兩大臣御揃ヒノ上デト思ッテ居リマシタケレドモ、農林大臣ニ限ッテ御尋シテ宜シイ箇條ガアリマスカラ申上ゲマス

○東委員長 アナタノ本質的ノ質問ダト、適當ナル時期ニ御許シシマスガ……

○清家委員 ソレハ宜シウゴザイマスガ、

只今モ長イ間ノ質問應答ヲ重ネラレテ、而モ甚ダ要領ヲ得ナイデ終ッテ居ルコトヲ遺憾ニ思フノデアリマス、ソレデ私ハ只今農林大臣、米穀部長ノ御答ニナリマシタコトニ付キマシテ……

○東委員長 關聯シタ事項デアルナラ宜シウゴザイマス、簡單ニ願ヒマス

○清家委員 ソレデ第一ニ私ハ先日カラ申スノデアリマスガ、所謂生産費ナルモノヲ以テ米ヲ買上ゲレバ、公租公課ヲ何處カラ拂フカト云フ理由ハ、モウ一步進ンデ如何ニ生活ヲ保チ得ルカ、斯ウ云フ問題ニ到著致シマスルノデ、生産費ヨリハ稍高ク最低ノ價格ヲ定ムベキモノデアル、確カリシタ御返事ヲ爲サイト、此間農林大臣ニモ申上ゲタノデアリマシタガ、例ニ依ッテ確カリシタ御意見ハ聽カナカッタノデアリマス、只今ノ松山君ノ御意見モ、私非常ニ尤ト思フ點ガアリマス、皆ガ皆合致シマセヌケレドモ……、例ヘバ運賃ヲ生産費ノ中ニ入レヤウト云フコトヲ、農林大臣ハ非常ニ困難ナ問題ノヤウニ首ヲ傾ケテ、ドウシテ取扱ッタラ是ガ解決スルカ、一向策ヲ得ナイカラト云フヤウナ御答辯デアリマシタケレドモ、譯モナイデヤアリマセヌカ、吾々亂暴ナコトヲ言フヤウダケレドモ、苟モ國家ノ政治

ニ與カル所ノ者ハ、大臣モ議員モ今少シク

大キク考ヘテ、所謂刀筆ノ吏ニ墮サナイヤ
ウニ致シタイト思フ、何ダカ質問應答ガ悉

ク數字ヲ唯割出スヤウナコトバカリヲ言ッ
テ居ルガ、ソシナ事ハセヌデモ宜イデヤナ

イカ、ソレハ何故サウ言フカト云フト、斯
様ナ理由ガアル、運賃ヲ加ヘルト言ッタッ

遠イ所モアリ、近イ所モアルト云フガ、平
均シタラ何デモナイデヤナイカ、生産費中

ニ調ベラレタ肥料一ツデモ、天然ニ造レル
所ノ物モアル、手ヲ澤山加ヘナケレバナラ

ヌ物モアルガ、ソレハ平均ヲ出スデヤナイ
カ、小作ニ關スル費用デモ、是モ矢張各種

ノ違ッタモノヲ一緒ニシテ平均シテヤルデ
ヤナイカ、運賃デモサウスレバ譯ハナイデ

ヤナイカ、片一方ハ平均ヲ出シ得ル、片一
方デハ出セナイト云フ頓珍漢ナコトガアル

モノデヤナイ、今少シ大臣ハ大キク考ヘラ
レテ、天下ノ大宰相ハ大キクヤッテ、刀筆ノ

吏カラ脱却シテ、此米ノ問題ノ始末ヲ付ケ
ルヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、是デ

モ出来マセヌカ、理由ヲ備ヘマセヌカ、是
ガ理由ヲ備ヘヌトナレバ、所謂平均ノ意味

ト云フモノハ、總テ理由ヲ備ヘヌコトニナ
ル、エライ理窟ノヤウデアリマスガ、チット

ハ理窟ヲ混ヘヌト分ラヌカラ、混ゼテ置ク

譯デアリマスガ、如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 大變御親切ナ御勸告デ、
有難ウゴザイマス、運賃諸掛ノ問題ヲドウ

ニカ考ヘタイト云フ希望ハ有ッテ居リマス、
其平均ナラ宜イデヤナイカ、ソレモ一案デ

アリマセウ、又庭先相場ト集散市場ノ相場
ト云フモノハ常ニ一ツノ開キガアリマス、

是ハ恐ラク運賃諸掛ト云フモノガ、自然ニ
加味サレタモノデハナイカト云フヤウナ感

ジモスルノデアリマス、尤モ時々ハ動イ
テ居リマスノデ、運賃諸掛ト云フヤウナ關

係ヲ見テ入レル時ハ、ドウ云フモノヲ取ッテ
行ッたら宜イカト云フヤウナコトモ、餘程考

究シナケレバナラヌコトデアリマス、平均
ト仰シヤルコトモ一案カモ知レマセヌガ、

直チニサウ云フコトハ出来マセヌ
○清家委員 ソレカラ公租公課、是モドノ

部分ガ他ノ掛リデアッテ、ドレダケガ米ニ
關スルカ分ラヌト米穀部長ハ言ハレルノダ

ガ、私ハソレモイカヌト思フ、分ラヌト云
フノハ怪シカラヌト思フ、ソレナラ今迄ノ

政府ハ、市町村ニ對シテ監督ヲシテ居ッ
タガ、左様ナ課稅ヲサセテ満足ヲシテ居ッ

カ、怪シカラヌデヤナイカ、戸數割ト云フ
モノヲヤルニシテモ、收益ガ幾ラ、財産ガ

幾ラ、斯ウシテ割出スデヤナイカ、明瞭ニ

分ッテ居ラナケレバナラヌ、明瞭ニ分ッテ居

ルモノヲ明瞭ニ加ヘルノハ、何モ差支ナイ
デヤナイカ、ソレハ高イ所モアル、低イ所

モアル、如何ニ加ヘタラ宜イカト云フコト
ヲ言ハレルガ、是モ平均ヲ加ヘタラ宜イ、

何モ御破算流ニ問題ヲ手取り早ク考ヘルコ
トガ必要デス、小田原評定ハ止サウデヤナ

イカ、降伏スルカ、籠城スルカ、毎日評議
スル間ニハ、遂ニ降伏シナケレバナラヌヤ

ウニナル、ドウカ一ツサウ云フ點モ、餘リ
小理窟ニ固執シ過ギル、少シ理窟ヲ大キク、

大算盤ヲ以テ、高所大所ヨリ善處スルナン
ト云フコトハ何時モ述ベラレルガ、ソレデ

ハ善所ノ仕樣ガドウモ足ラヌデナイカト思
フ、其點ハ如何ニ思ハレマス、分ラヌト云

フナラバ日本政府ハ甚ダ怠慢デアルト思
フ、分ラヌコトハナイ、又若シ出来テ居ナ

イ市町村ガアルナラバソレハ亂暴ナ課稅ノ
方法ヲヤッテ居ルノデアルカラ、分ラヌ所ハ

ヤッテヤラヌデモ宜イ、サウスレバ否デモ精
密ナ課稅ノ根據ヲ作ッテ行クヤウニナッテ來

ル、是ハ自治制發達ノ爲ニ政府ハ努メテヤ
ルベキモノデアル、其點ニ付テハ農林大臣

ト雖モ、國內ノ政治ヲ整フルコトハ希望、
理想ニ相違ナイコトデアルカラ、努メラレ

テ宜イト思ヒマス、分ヌトカ、ドウ加ヘタ

ラ宜イカト云フヤウナ御答辯ハ、天下ノ大

政治家ノ言フベキコトデハナイ、刀筆ノ吏
ノ言フコトデアル、ソコヲ私ハ御忠告旁ト

ウ爲サルカト、御尋スルノデアリマス
○後藤國務大臣 事務當局カラ御答シテ居

リマス事柄ハ、今マデノ遣方ニ付テ、何故
ニソレガイケナカッタカト云フ説明ト、ソレ

カラ今後ソレデハドウ扱フカト云フコトニ
付テ、マダ具體的ナ確定シタ案ヲ持タナイ

爲ニ、ドレダケノ物ヲドウ入レルノダト云
フ方法ヲ考究シナケレバナラヌト云フコト

ト、斯ウ云フ二ツノ答ガアルドラウト思ヒ
マス、ソコデ悉クガ御意見ト一致スルヤウ

ナ風ニ、今後ノ調査ニ依ッテ出デ參ルトハ約
束ハ出来マセヌ、併ナガラ今ノ公租公課ノ

點ニ於テモ、戸數割デアルトカ、部落費デ
アルト云フヤウナモノガ、或ル一ツノ方法

ニ依ッテ入レ得ルモノナラバ、考究シテ見タ
イト云フコトヲ事務當局モ申シテ居リマ

ス、ソレナラバドウ云フ工合ニ、ドウシテ
入レルカト言ヘバ、平均シテ入レト一概

ニ仰シヤルケレドモ、サウハ言ヘナイ、隨
分考究シタ結果、具體的數字ガ得ラレナイ

ト云フノデ、入レナカッタト云フヤウニ聞イ
テ居リマスガ、此事モ考究シテ見タイト考

ヘテ居リマス、ソレ以上ノコトハ今此處デ

御話スル譯ニハ參リマセヌノデ、大概御感ジテ御推測ガ付クコトデハナイカト思ヒマス

○清家委員

感じト仰シヤルガ、第六感ニ惣ヘレバ考ヘラレナイコトモナイガ、平均ト云フ言葉ハ、サウ馬鹿ニシタ言葉デハナイ、平均ナラ平均デヤレバヤリ得ルト云フ

ヤウニ聞イテ居ルト、今度ハ五感デ感ズルノデアル、ドウカ今少シ本氣デヤッテ貰ヒタイ、ドウスルカ、斯ウスルカト幾ラ小田原評議ヲシテモ駄目デアル、政府デ斯ウ云フヤウニスルト勅令案マデ見セテ置キナガラ、勅令案ハ大體デ宜イカラト云フ註文ダッタカラ、其註文ニ應ジテ出シタノカ知ラス

ガ、是モ茫漠タルモノデアル、若シシッカリシタ勅令案ガ出テ居ッタナラバ、米穀委員會ハ疾ニ濟ンデ居ル筈デアル、其點ニ於テ政府ノ御取調ベノ甚ダ姑息ナルコトヲ遺憾ニ思ヒマス、御自分デモサウ御感じニナルダラウト思ヒマス、吾々ハ空論ヲスルノデハナイ、ヤル方法ハ平均デモ何デモ宜イ、何

モ爲スナクシテ濟スト云フコトガ一番悪い、少々位間違ッデモ悪い方ニハ間違ハナイカラオ遣リニナッタ宜カラウト思ヒマス、ソレダケ御忠告シテ、打切ッテ置キマス

○三善委員

朝鮮ノコトニ付テ一寸御尋致シマスルガ、朝鮮デ開墾助成、其他耕地ノ整理ニ對シテモ助成シテ居ラレルノデアリマスルガ、ソレハ一體米ガ幾ラデアレバ其事業ヲ爲シテモ引合フト云フ、其米價ノ基準ト云フモノガ立ッテ居リマスナラバソレヲ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○今井田政府委員 只今ノ御質問ハ米産増殖計畫ニ伴フ水利組合、或ハ干拓事業等ニ付テノ御質問ト存ジマスルガ、産米増殖計畫樹立當時ニ於キマシテ、米價ガ著シク騰貴致シタコトガアリマス、其當時ニ於キマシテハ、粳一石ガ十二圓ト云フノ標準ニシマシテ米價ヲ決メタノデアリマス、併シ此數年來米價ガ著シク下落致シマシタノデ、左様ナ採算標準ヲ以テシマシテハ、到底水利事業、或ハ干拓事業ノ採算ガ採レナイノデアリマス、隨テ段々之ヲ下ゲテ參リマシテ、極ク最近ニ於キマシテハ、粳一石八圓ヲ標準ニ置キマシテヤッテ居ルト云フ狀況ニナッテ居リマス

○三善委員 粳一石ヲ八圓見當トシテヤッタナラバ、開墾助成及産米計畫ヲ立テ、モ、農民ガ左程苦シマスト云フ御見解ノ下ニハ圓ト云フ米價ヲ御決メニナッタモノト思フノデアリマスルガ、粳一石八圓デアッタナラバ生産費ヲ償フノデアリマスルカ、其點ヲ伺ヒマス

○今井田政府委員 是ハ生産費トハ全く別問題デアリマス、開墾、或ハ水利ノ便ヲ圖ルト云フ爲ニドレダケノ經費ヲ要スルカ、其經費ヲ投下致シタ場合ニハドレダケノ増收ガアルカ、其増收シタモノガドレダケノ價格デ賣レル、サウスレバ元利ヲ償却スルコトガ出來ルト云フヤウナ計算カラ基準ヲ立テ、居ルノデアリマスカラ、生産費ニ多少ノ關係ハアリマスルガ、生産費トハ全く別ノ見地カラ立テ、居ルノデアリマス

○三善委員 生産費ト多少ハ關係ガアルト申サレマスガ、苟モ産米計畫ヲ立テラレル上ニ付キマシテハ、其資金ノ償却ト共ニ、其開墾シ、或ハ干拓スル者ガ相當ニ生活シテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、生産費ヲ償ウテ尙ホ若干ノ餘裕ガナケレバ、無論資金ノ償却モ出來ヌコトニナルノデアリマス、故ニ生産費ヲ御考ニナラズシテ、此朝鮮産米計畫ニ對シテ米價ガ幾ラデアレバ宜シイト云フコトヲ御決メニナルコトハ無謀ダト思ヒマス、生産費ガ幾ラ掛カルカラ、米ヲ幾ラニスレバ資金ノ償却モ出來、又農民ガソレデ暮シテ行ケルト云フ考ノ下ニ産米計畫ヲ御進メニナラヌト、唯生産費ハ多少ノ關係ハアルケレドモ、ソレト是トハ別ト云フヤウナ考デ産米計畫ヲ御進メニナルノハ、非常ナ間違ヒダト思フガ、生産費ト云フコトハ御念頭ニナイノデアリマスルカ

○今井田政府委員 生産費ハ全然關係ガナイ譯デハ無論ナイノデアリマス、先程例ニ擧ゲマシタ通り、假リニ一反歩ノ收穫量ガ現在ノ狀況ニ於テハ一石デアルトシテ、其水利ノ便ヲ圖リマシタナラバ二石穫レル、又ソレニ改良ヲ施シマシタナラバ、更ニ多ク穫レルト云フヤウナ所カラ計畫ヲ立テ、計算ヲ致シマシテ、サウシテソレダケノ改良ヲ致ス場合ニドレダケノ資本ガ要ル、サウシテ其利子ガドウ云フ風ニナルト云フヤウナ計算ヲ致シマシテ、其增收高ト、增收セラレタ米ガ幾ラニ賣レタナラバ、此元利金ヲ償還出來ルカ、斯様ナ標準カラ計畫ヲ進メテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、生産費ガ關係ヲ有ツノデアリマスルガ、生産費ノミノ方面カラダナクシテ、斯様ナ方面カラ生産費ト云フモノヲ割出シテ居ル、此標準價格ノ割出シト云フコトカラ申上ゲタノデアリマス

○由谷委員 主トシテ農林大臣ニ質問致シマスガ、出來ルダケ要領ヲ摘ンデ簡潔ニ御尋ショウト思ヒマスカラ、ドウゾ御返事モ

其意味デ簡潔明瞭ニ御願シマス、過般ノ本會議デ私共相當ノ意見ヲ以テ聞イタノデアリマシタガ、農林大臣ノ御答ハ、甚ダ事務的ナ不得要領ノ御答デアッタコトヲ遺憾トシテ居リマス、併シ今私別ニ議論ヲスル意思デアリマセヌ、一切ヲ質問ノ範圍ニ於テ致サウト思ヒマスカラ、ドウゾ御答ヲ願ヒマス

第一ハ值幅ノ問題デアリマス、本會議ニ農林大臣ハ、具體的ニ言ハレヌガ、併シ相當ナ幅ガ必要デアルト思フ、併シ又無暗ニ擴ゲテハ困ル、ト言、タヤウナ御意見デアリマシタガ、大體世間デハ一石八圓乃至九圓ノ值幅ガアルヤウニ想像シテ居リマス、值幅ノ問題ニ付テ農林大臣ノ御考ヲ此際ハッキリ御示シテ願フデ置キタイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 值幅ガ幾ラニナルカト云フコトハ、ハッキリハ申セマセヌ、生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ト云フモノデ最低價格ガ決リ、家計費、物價其ノ他ノ經濟事情デ最高價格ヲ決メル、物價ノ關係ハ動キマセウガ、生産費、家計費ト云フモノハ、或ル數字ガ此處ニ出テ來ルノデアリマス、先ヅ其幅ノ目安ガ凡ソ此幅ニナルト思ヒマス、其通りニキツカリ行ク譯デアアリマセヌガ、

サウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ是ハ其幅デ動かサヌノダ、ソレ以上、家計費以上ニハ米價ハ實際ニ高クナラヌノダト云フヤウナ譯ニモ申シ兼ネマスシ、ハッキリシタコトハ無論申シヤウガナイノデアリマス、其時ニ出テ來ル計算デアリマシテ、色々ナモノ、事情、生産費モ動キマスシ、家計費カラ割出シタ米價ト云フモノモ動キマス、併シ其公定價格ノ外デハ動キヤウガナイノデアリマスカラ、今マデノ基準ヲ決メテ置イテモ、其外ニドシノ動イテ行ッタモノトハ隨分違フモノデアルト思ヒマス

○由谷委員 サウシマス、值幅ガ廣イガ宜イトカ、狹イガ宜イトカ云フヤウナ觀念ハ棄テ、唯生産費トカ、家計費トカ言、タ調査材料ノ示スモノニ從テ行クト云フ風ニ考ヘテ置キマス、先達商工大臣ヲ呼ンデ參リマシテ、政府ノ米ニ對スル統制方針ト、今ノ市場トノ關係ニ付テ少シク聞イテ置イタノデアリマシタガ、只今ノ農林大臣ノ答辯ガ、政策トシテ作爲的ニ值幅ヲ擴ゲル、狹メルト云フコトヲシナイナラバ、此問題ハ私ハ別ニ論及シナイコトニ致シマス、唯茲デ遺憾ナコトハ只今ノ御答辯ニモアッタヤウニ、是カラ調査ヲシナケレバ分ラヌノダカラ、隨テ最高最低價格モ分ラヌシ、

同時ニ值幅ノ具體的説明モ出來ヌト云フコトデアリマスガ、實ハ私米穀統制法ヲ見マシテモ、政府ノ立法ノ精神ガ一番肝腎ナ所ヲ悉ク勅令ニ委任シテ居ル遣リ方デアリマス、是ハ爲替管理法ヲ見マシテモ同様デアリマスルシ、從來カラ日本ノ行政ノ習慣ト申シマスカ、或ハ官僚ガソレニ依ッテ非常ナ特權ヲ誇ルヤウナ感じカラ來テ居ルト申スノカモ知レマセヌガ、此重要ナ法案ガ肝腎ノ點ニ付テハ悉ク勅令ニ委譲サレテ居テ、吾々議員ノ方カラ申シマス、洵ニ中心ニ觸レルコトノ出來ナイ、マルデ外廓バカリヲウロ／＼シテ居ッテ、本當ノ中心ニ突込ムコトガ出來ナイコトハ、衷心カラ遺憾ニ存ジマス、米穀統制法ノ如キモ、實ハ昨年以來ノ重大ナ問題デアッテ、政府ガ此議會ニ出シマシタ農村匡救ノ唯一ツノ案トシテ、全國ノ農民ハ非常ナ期待ヲ有ッテ居ルノデアリマス、看板ダケハ假ニ出マシテモ、而モ其看板ハ統制ト言ッタヤウナ非常ニ思切ッタ言葉ヲ使ッテ居ルノデアリマス、農民ハ之ニ依ッテ相當ナル期待ヲ有ツコトハ當然デアリマスガ、若シ實際ニ此法律ガ實施ニナッタ上ハ、之ニ現レタ所ノモノガ農民ノ期待ニ背イタ場合ニハ、吾々農民ハドウ云フ感じヲ有チマスカ、是ハ感じ

ノ問題デハナイノデアリマス、ソコニ全日本ノ農村階級ニ互ル大キナ社會的變革スラ起ルモノト思フノデアリマス、此際農林大臣ニ聽クコトハ少シク無理カモ知レマセヌガ、本法ノ提案ニ當ッテ今少シク具體的ニ相談セラレル見地カラ、所謂勅令ニ互ル事項ヲ法律的ナ文章條文ニ依ッテ示スダケノ誠意ガナカッタコトヲ、私衷心カラ遺憾ニ感じマス、是ハ政府ノ怠慢トハ申シマセヌケレドモ、少クトモ看板ダケ投出シテ置イテ、後ノ内容ハ役人ノ手デドウニデモヤッテ行クト云フヤウナ遣方ハ實ハ今日ノ時勢ニハ甚ダ不謹慎デアリマスシ、且ツ時勢ノ思想ニ反逆性ヲ多分ニ有ツト思フノデアリマス、併シ是ハ私ノ意見デアリマスカラ、農林大臣ニ聽キマセヌガ、唯茲ニ御尋シタイ點ハ、一昨日事務的ナ質問ハ米穀部長ト交換致シマシタガ、本法ノ中心デアル最高、最低相場ヲ決メル第二條第二項ノ條文デアリマス、最高ノ價格ハ家計費ト、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌スルトアリマスシ、最低米價ハ生産費ト物價、其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌スルトアリマス、實ハ本日御配付ニナリマシタ河野君カラノ註文デアッタ此勅令案ノ大綱ト云フヤウナモノニ對シテ、私ハ非常ナ期待ヲ以テ見タノデアリマ

ス、所ガ之ヲ拜見スルト、コンナモノハ頂戴シタクハナイ、勅令ニ規定スベキ事項ノ大綱ト云フヤウナコトハ、別ニ書イテ貰ハナクテモ米穀統制法ヲ少シ綿密ニ讀シテ分ル事デアアル、題目ダケシカ書イテナイノデアリマス、吾々ノ政府ニ要求シタノハ此物價其他ノ經濟事情ノ參酌、此參酌ノ内容ハドウスルカ、此具體的ノ點ヲ聽キタカッタ

○後藤國務大臣 是ハ、五十ニ見ル、六十ニ見ル、サウ云フ風ニ考ヘル譯ニ參ラヌト思ヒマス、生産賃ノ調、家計費ニ付テハ、尙ホ今後ノ調ニ確信ヲ持ツマデニハ、一寸時ガアルカト思ヒマス、兎ニ角數字ガ玆ニ出テ參リマス、物價ノ關係カラ見テノ値頃ト云フモノハ、是ハ色々計算ノ仕方ガアラウト思ヒマスガ、相當合理的ナ計算ノ方法ヲ立テ、見ナケレバナラヌ、其他ノ經濟事情トシテハ、先般來説明シテ居リマスマウニ、運賃諸掛等ノ點ヲモ、其要素トシテ考ヘテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、其外ニ如何ナル經濟事情ノ下ニ考慮サレルカト云フコトハ、今具體的ニ餘リ想像致シテ居リマセヌケレドモ、隨分經濟上ノ事情ノ變動ガ激シイノデアリマス、唯物價ノ關係ノミヲ見ルノデナク、經濟事情ト云フモノモ、見ルコトニ致シテ置カネバナラヌデアラウト思ヒマシテ、此法文ヲ設ケテ

居ルノデアリマス、此公定價格ヲ定メマヌ時ニハ、是等ノ標準資料ニ依リマシテ、相當機關ニモ諮ラテ、極ク合理的ナ決定ヲシタイト云フ考デアリマス

モスルノデアリマス、而モ其要綱トシテ、勅令ニ讓ッテアル部分ヲ何等吾々ニ知ラシメズシテ、此法律案ニ賛成ヲ求メルニ至ッテハ、實ニ吾々ノ審議權ヲ無視シタ態度デアアル、其意味ニ於キマシテ、政府ハ速ニ勅令案ノ要綱ヲ具體的ニ示シテ戴キタイ、雖形見タヤウナモノヲ出サズシテ、是レレレ決メル積リデアアル、唯立法技術ニ現ハスモノハ後日ニ讓ルガ、大體ハ是レレ兩々デアルト云フコトガ決マラズシテ、一體何處ニ法律ガ出來ルカト云フコトニ、甚ダ吾

ハ研究中ト云フヤウナ御答辯デアルヤウデアリマス、研究中ガ惡イトハ申シマセヌケレドモ、農林大臣御自慢ノ統制案ガ出タ以上ハ、モウ少シ進ンデ、勅令ノ内容ニ付テハ、説明ガアッテ當然デアラウト思フノデアリマス、統制法ハ出シタケレドモ、其内容ニ付テハ是カラ研究ト云フコトデハ、吾

○河野委員 議事進行ニ付テ一寸一言——只今ノ由谷サンノ御意見ハ尤ナ御意見デアリマシテ、而モ御質問ニナリマシタコトモ、最モ當ヲ得タ御質問ト思フノデアリマスガ、元來申シマスルト、政府ガ今日配付致シマシタ勅令案ノ大要ト云フモノハ、其結果ヲ生ムコト、思フノデアリマス、吾々ハ此一ツノ法律ガ立案サレマス時ニ、勅令案ノ内容ノ決マッテ居ラヌ法律ト云フモノハ、アリ得ベカラザルモノト思フノデアリマス、而モ斯ウ云フ大要ヲ配ルニ至ッテハ、言語道斷ダト思フノデアリマス、斯ウ云フ大要ヲ配ッテ、此法律ヲ審議セイト云フコトハ、政府ハ非常ニ吾々ヲ侮辱シタ態度ダト

思フ、吾々委員會ハ此要綱ヲ知ラズシテ、而モ具體的ニ申上ゲマヌナラバ、誰モ此統制案ニ反對スル者ハナイ、此統制案ハ吾々一致シタ意見ノ要望デアアル、併シ其統制案ノ根幹ヲ成ス所ノ生産費ハドウナッテ居ルカ、最低價格、最高價格ハ、何處ニ決メラレルカト云フ點ガ議論ノ中心デアリマス、其如何ニ依ッテ吾々ハ此案ニ賛成モスレバ、反對

テ委員長ヨリ政府ニ向ッテ、此勅令案ノ要綱ヲ具體的ニ、吾々ニ一目瞭然ニ分ルヤウニ一々質問セヌデモ、其要綱デ大體納得セシメルヤウナ要綱ヲ出スカ否カ、出サヌト云フナラバ吾々ハ更ニ詳細ニ質問シナケレバナラヌ、サウナリマスト委員會ハ何日掛カルカ分ラヌヤウナコトニナリマスカラ、先ヅ其要綱ヲ出スカ否カト云フコトヲ、委員長ヨリ政府ニ御交渉願ヒタイノデアリマス

○由谷委員 只今ノ河野君ノ議事進行ノ御話ハ、私モ全然一致デアリマスガ、私ノ質問ハ參考資料ニ於テモ、十分御配慮ヲ煩ハシテ置キタイノデアリマス、次ニ第二條ノ第二項デアリマスガ、一旦決ッテ公定米價

ハ十分御諒承願ッテ置カナケレバナラナイノデアリマス、第二條ノ規定ニ於テ最高最低ノ價格ヲ決定スル場合ニ、物價其他ノ經濟事情ト云フモノヲハッキリシタ分量ニ於テ御決メニナルト云フコトデアリマスガ、モウ少シ具體的ニ申シマヌナラバ、例

ハバ最低米價ハ百ト致シマス、其百ニ對シテ生産費ノ持ツ分量ガ六十、物價其他ノ經濟事情ガ四十ヲ占メルノデアリマスカ、或ハ生産費ヲ五十ト見テ、アトノ五十ヲ物價其ノ他ノ經濟事情ニ充テルノデアリマスカ、其參酌ノ具體的ナ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

第二項デアリマスガ、一旦決ッテ公定米價

ハバ最低米價ハ百ト致シマス、其百ニ對シテ生産費ノ持ツ分量ガ六十、物價其他ノ經濟事情ガ四十ヲ占メルノデアリマスカ、或ハ生産費ヲ五十ト見テ、アトノ五十ヲ物價其ノ他ノ經濟事情ニ充テルノデアリマスカ、其參酌ノ具體的ナ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

ハバ最低米價ハ百ト致シマス、其百ニ對シテ生産費ノ持ツ分量ガ六十、物價其他ノ經濟事情ガ四十ヲ占メルノデアリマスカ、或ハ生産費ヲ五十ト見テ、アトノ五十ヲ物價其ノ他ノ經濟事情ニ充テルノデアリマスカ、其參酌ノ具體的ナ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

ハバ最低米價ハ百ト致シマス、其百ニ對シテ生産費ノ持ツ分量ガ六十、物價其他ノ經濟事情ガ四十ヲ占メルノデアリマスカ、或ハ生産費ヲ五十ト見テ、アトノ五十ヲ物價其ノ他ノ經濟事情ニ充テルノデアリマスカ、其參酌ノ具體的ナ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

ハバ最低米價ハ百ト致シマス、其百ニ對シテ生産費ノ持ツ分量ガ六十、物價其他ノ經濟事情ガ四十ヲ占メルノデアリマスカ、或ハ生産費ヲ五十ト見テ、アトノ五十ヲ物價其ノ他ノ經濟事情ニ充テルノデアリマスカ、其參酌ノ具體的ナ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

ヲ、更ニ勅令ノ定ムル所ニ依ッテ、物價變動ノ著シキ場合、又ハ米穀ノ需給狀況云々ニ依ッテ改定スルコトヲ得トアリマスガ、此ニ且決ツタ米價ヲ、其後ノ經濟事情ニ依ッテ、特ニ物價ト云フ字ガ書イテアリマスガ、物價ノ變動如何ニ依ッテ、或ハ需給狀況如何ニ依ッテ改定スル、今ノ經濟事情ニ於テハ極メテ適切ナ條文デアルト思ヒマス、唯是モ勅令ノ内容ガ分リマセヌカラ私共雲ヲ擱ムヤウナ感ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマスガ、政府ノ豫想シテ居ル、斯ウ云ツタヤウナ場合ノ具體的ノ御示シガ願ヘルナラバ極メテ仕合ト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○荷見政府委員

其點ニ付キマシテハ此前モ一寸……(由谷委員「米穀部長ニハ此間聽イタデス、農林大臣ガドウ考ヘルカト云フコトヲ聽キタイノデス」)私ノ考ヘルコトヲ一言申上ゲテ置キマス、此條項ハ此統制法ニ初メテ入ッテ居ル條項デハゴザイマセヌノデ、現行法ノ中ニモ矢張同ジ條項ガゴザイマス、ソレデ其實行スル場合ト致シマシテハ、從來ノ實例ニ付テ申上ゲマスト、金ノ輸出ヲ禁止致シマシタ結果、物價ガ非常ニ騰貴致シマシテ、昨年ノ三月末ニ改定ヲ致シマシタコトガゴザイマス、ソレカラ

其他之ヲ實行致シマシヤウナ場合ハ、從來豫想致シテ置キマシタノハ、過去ニ於テノ關東地方ノ大震災ノヤウナ場合ニ、非常ニ物價ガ動搖シタコトガアリマス、或ハア、云フ場合ハ、改定ヲ要スベキ場合ガ發生シヨウト思ヒマス、ソレカラ金ノ輸出ヲ自由ニ致シテ居ルヤウナ場合モ、物價ガ非常ニ下落致シタヤウナ場合ガアリマシタ、サウ云フ場合ニモ價格ノ改定ヲ致ス必要ガ生ズルデアラウト思ヒマス、サウシテ平常ハ容易ニ決定ヲ行フベキモノデナイ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ッタノデアリマス

○由谷委員

之ニ付テ私農林大臣ニ聽キタイノデアリマスガ、此第二項ノ規定ハ、結局農民ニ對シテハ損ニナッテシマフノデハナイカト云フ心配デアリマス、一旦決マツタ米價ガ、來年ニナッテカラ例ヘバ非常ニ上ルトシマス、其場合公定米價モ其變動ニ依ッテ高クスルト云フ、併シ高クナッタ時ニ、本當ニ喜ブ米ヲ持ッテ居ル人ハ商人ガ主デアッテ、農村ニ於テハ大體ニ於テ地主階級デアリマス、結局生産者ノ自作、小作ノ階級ニ於テハ、餘リ御蔭ガナイノミナラズ、物價ガ安クナツタカラト言ッテ、米ガソレニ連レテ安クサレル場合ニハ、是ハ農村ノ地主ト雖モ大キナ打撃ヲ受ケザルヲ得ヌ、私此立

法ノ精神ノ弾力性ト申シマスカ、所謂物價ノ著シキ變動ニ處スル用意ニ付テハ、相當ナ敬意ヲ拂ッテ宜イト思ヒマスガ、其結果ニ付テハ、實ハ農民ニ對シテ保護デアルカドウカト云フ、非常ナ疑問ヲ持ツノデアリマス、現ニ公定米價ハ、既ニ濟ンデシマツタ生産費、既ニ濟ンデシマツタ物價、其他ノ經濟事情決マツテ居ルノデアリマス、隨テソレガ來年ノ新シク米ノ出來ルマデノ期間ニ於テ、變動スルト云フコトハ、結局ニ於テハ農民ノ爲ニ得デハナクシテ、是ハ所謂消費者階級ニ對スル、一ツノ御用意ノ條文デアラウト解釋シテ居リマスガ、ソレハサウデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○後藤國務大臣

消費者階級ノ爲メノミノ用意ノ條文デハ決シデアリマセヌ、双方ノ爲メノ用意ノ條文デアリマスガ、唯濫リニ之ヲ行ッテハイケナイト思ヒマス、公定價格ト云フモノデ、米ノ價格ノ先行キト云フモノ、見透シガ付クヤウニシテ置クコトガ宜イト思ヒマスガ、併シ著シキ貨幣價值ノ變動ガ起リ、或ハ翌年ノ大凶作ト云フヤウナ事カラ、先行キノ米ノ需給狀況ニ依ッテ、非常ニ變動ガ豫想サレル時ニ、前ノモノガ釘付ケニサレテ居ッテハ、ドウシテモ工合ガ惡ト云フコトガ起リマスカラ、著シイ變動ノ

アル場合ニ、例外的ニ之ヲヤルト云フコトハ、總テノ事情ヲ考ヘテ適當ナ用意デアラウト思ヒマス

○由谷委員

結局此問題カラ政府ノ意思ヲ考ヘテ見マスト、米ノ問題ヲ中心ニシテ、消費者ノ爲ニモ、生産者ノ爲ニモ旨クヤッテ行クト云フ風ナ、洵ニ面倒ナ事柄ヲ統制法デヤラウトスル所ニ、政府ニ非常ナ缺陷ノアルコトヲ、私ハ指摘スルニ止メテ置キマシテ、次ノ質問ニ移リマスガ、是モ本會議デ明確ナ御答辯ヲ得ナカッタノデアリマスガ、政府ガ一ツノ統制觀念カラ、最高最低ノ價格ヲ決メルト云フナラバ、之ヲ買上ゲ、或ハ賣渡スト云フヤウナ方法ニ依ラズニ、一本ノ法制的條文ニ依ッテ、昭和八年度ノ米穀ハ最低幾ラ、最高幾ラニスル、之ヲ犯シテ其範圍以外ノ賣買ヲシタ者ニ對シテハ、相當ナ處分ヲスル、是ハ農林大臣ハ、處分規定ヲ設ケテモ、小サイモノダケヲ取締リ得ルニ過ギヌト云フコトヲ言ハレマシタガ、若シ取引所等ニ依ッテ、政府ノ意思ヲ向フニ廻シテ賣リ向フ、或ハ買占メテ行クト云フヤウナコトガアッテモ、今ノ經濟ノ勵キニ於テハ爲シ得ルノデアリマス、隨テ七億圓ノ金ヲ使ハナクテモ、サウ云ツタ自由經濟市場ノ得手勝手ナ取引ヲ禁止スル爲ニモ、政府

ノ持つ方針ヲ確立スル爲ニモ、法制ニ依ッテ最高最低ノ相場ヲ決メテ、サウシテ之ニ違反シタ者ニ向ッテハ、ドン／＼嚴重ニ處罰ヲスル、現ニ米ノ輸出入ニ對シテハ斯様ナ規定ガアリマスガ、アレヲ内地ノ商取引ニ向ッテモ、完全ニスルト云フヤウナ考方ガアルナラバ、私共米穀統制法ノ運用ニ對シマシテハ、其結果ニ付テ相當期待シ得ルノデアリマス、唯金ヲ以テ賣ッたり買ッたり、是デ以テ果シテ統制ガ出來ルカ出來ヌカ疑問デアリマスシ、政府ハソコノ統制的觀念ヲ持タナカッタカ、或ハ持ッテモ何處カニ不都合ガアツカラシラナカッタカ、此點ニ對スル農林大臣ノ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス

トハ、徒ニ煩雜ヲ加ヘテ、何程ノ效果モナイモノデアルト云フ結論ニ到達シタノデアリマス

○由谷委員 是ハ結局意見ノ相違ニナルト思ヒマスカラ、是デ止メマシテ、私ハ更ニ米穀統制法ノ中心ニ向ッテ、質問致シタイノデアリマス、農林大臣ハ此立法ヲ以テ、農民ノ爲ニ相當利益ダト云フコトヲ、本會議デ御答辯ニナリマシタガ、今日ノ農村ノ狀況ニ對シテ、此立法ガドノ程度マデノ利益ヲ齎スカト云フコトヲ、ハツキリ聽イテ置キタイノデアリマス

○後藤國務大臣 最低價格ヲ公定致シマシテ、之ニ依ッテ、此値段其モノデ米ノ買上ヲ致シテ、是ヨリ米價ガ下ガライヤウニ企圖スルト云フ事柄ハ、餘程農村ニハ好イ結果ガ來ルモノデアルト思フノデアリマス、如何ナル程度ノ結果ガ來ルノデアアルカト云フコトヲ、具體的ニ申セト言ハレマシタケレドモ、ソレハ一寸申上ガ兼ネマス、ケレドモ此制度ヲ以テ參リマスレバ米ノ最低價格ヲ、容易ニ米ノ値段ガ覗カナイト云フ效果ガ發生スルノデアアル、斯ウ思ッテ居リマス

○後藤國務大臣 其點ニ付キマシテハ、政府部内ノ考究ノ徑路ニ於キマシテ、又調査會等ノ際ノ研究ニ於テモ、相當ニ論究サレタ點デアリマス、併ナガラ最高最低ノ價格ヲ決メテ、之ヲ統制的法制ノ力ヲ以テ維持シテ行カウト云フ事柄ハ、結局歸スル所ハ矢張經濟的ニ買ッテヤル、賣ッテヤルト云フコトノ準備ナクシテハ、實行ノ出來ナイコトデアリマス、而シテ若シ其準備アリトスルナラバ、ソレデ目的ハ略、達シ得ルノデアリマス、唯法制デ以テ賣リ廻スト云フコ

○由谷委員 此場合私ハ農村匡救ニ關スル政府ノ一般ノ意見ヲ聞クコトハ御遠慮致シマス、政府ト雖モ此米穀統制法案一本デ、我國ノ農村經濟ノ打開ガ出來ルトハ、御考ニナツタ居ルモノデハナイト考ヘマスカラ、私ハ此問題ニ觸レルコトハ避ケマシテ、直ニ生産費ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、生産費ノ問題ニ付テモ、具體的ニ委員會開始以來、屢、質問應答ガアリマシタガ、私ハアノ問題ヨリモ、更ニ突込シタ點ニ付テノ質問ヲ致シタイノデアリマス、政府ノ御示シニナツテ居ル中庸生産費ノ調査基準ニ對シマシテ、私共ソレノ善イ惡イハ申シマセヌガ、唯アノ表ヲ見マス、政府ノ材料ニナツテ居ル中庸農家ト云フモノガ、一段歩二石四斗七升見當ノ收入ニナツテ居リマス、然ルニ我國ノ米作全部ニ對スル平均收量ハ、一段歩一石九斗弱デアリマス、惡イ田圃程生産費ガ餘分ニ掛ルト云フ考方ヲ致シマス、比較的良イ田圃デ作ッタ生産費ヲ基礎ニシテ、ソレデ日本中ノ田圃ニ當倣メルコトハ、極メテ不公平ダト思フノデアリマス、此場合政府ハ中庸生産費ノ調査ノ基準ヲ、良イ田圃ニモ適用シ、惡イ田圃ニモ適用シテ、其處ニ一ツノ清家君ノ所謂平均的ナモノヲ見出スト云フヤウナ方法ヲ考ヘテ居ルカ、考ヘテ居ナイカノ質問デアリマス

○後藤國務大臣 是ハ生産費調査ノ爲ニ、數千ノ田圃ヲ選ンデヤル場合ノ運用ノ問題デアリマスガ、是マデノ遣リ方ハ地方々々ヲ見マシテ、成ベク中庸ナル米、中庸ナル出來工合ノ所ヲ取ッテヤッテ居ル、ソレデナク又惡イ所ト良イ所ヲ取ルト云フコトモ、ソレガ平均サレト云フコトニナレバ、一ツノ考方デアアルカモ知レマセヌ、併シ其惡イ所ト良イ所ヲ取ルト云ウテモ、ドノ所ヲ取ルトガ適當カト云フ問題ニナツテ、結論ニ於テハ、矢張中庸ノ所ヲ取ツト同ジ意味ニナルト思フノデス、デアリマスカラ寧ろ結果ニ於テハ中庸ノ方ガ宜シイノデハナイトカト思フノデアリマス

○由谷委員 次ニ生産費ヲ假ニ中庸ニ決メルト致シマシテモ、私共農村ノ立場カラ考ヘテ、大キナ疑問ガ起キテ來ル、是ハ先達小池君カラモ質問ガアリマシタガ、今ノ米穀統制法案ノ内容ト、政府ノ言フ生産費ノ調査ト云フモノヲ基礎ニシテ考ヘテ見マスト、結局適正ナル生産費ガ出來テ、之ニ依ッテ農家が損ヲシナイト云フコトニナルモノト致シマシテモ、其損ヲシナイト云フ一種ノ御蔭ヲ蒙ル範圍ガ極メテ狭イト云フ考ヘ方デアリマス、我國ノ平均米產額六千萬石ト致シマシテ、政府ノ御示シニナツタ表ヲ見マシテモ、其内小作米トシテ小作農カラ

地主ニ納入スル米ガ千二百萬石デアリマス、更ニ生産者カ飯米ノ餘リヲ市場ニ賣出スモノガ、二千百萬石アリマス、残りノ二千七百萬石ガ自家用飯米トシテ自分デ食ッテシマフ、斯ウ云フ表ニナッテ居リマスガ、之ヲ自作農ノ立場カラ申シマシタナラバ、自作農ハ自分ノ作ル飯米ニ對シテハ生産費ニ對シテ肥料ガ幾ラ掛カラウト、税金ガ幾ラ課カラウト、自分ノ家デ食フデシマフノデアリマスカラ、生産費ノ御蔭ヲ蒙ルコトハ出來ナイ、自分ノ負擔ニ於テ自分ノ食フ米ヲ生産シテ行カナケレバナラス、僅ニ市場ニ賣出スモノダケガ生産費ノ最低補償ヲ受ケルニ過ギナイ、更ニ小作ノ立場カラ申シマスナラバ、自分ノ家デ食フ分ノ生産費ニ於テハ勿論補償ガアリマセヌシ、更ニ地主ニ納メル小作料ニ對シテモ、其生産費ニ於テハ全然補償ヲ受ケナイ、唯纔ニ自分ノ家デ賣出ス分ノ米ニ對シテ生産費ノ最低補償ヲ受ケルニ過ギナイ、斯ウ云フ結果ニナラウト思フノデアリマス、モット約メテ申シマスナラバ、結局米穀統制法ノ生産費ノ補償ハ、日本ノ全米產額ノ三分ノ一ノ二千百萬石、即チ生産者ノ賣出ス米ダケガ生産費ノ最低補償ヲ受ケルノデアリマシテ、アトノ三分ノ二ニ該當スル四千萬石ト云フモノ

ハ、全然生産費ノ補償ヲ受ケヌト云フコトニナラウト私ハ思フノデアリマス、ソコデ問題ハ、此自己ノ飯米、或ハ地主ニ納付スル小作米ノ生産費ニ對シテ、政府ハ此立法ニ於テ、少シモ補給スルヤウナ考方ヲ有タナクカドウカノ問題デアリマス、モット具體的ニ申シマスナラバ、少クトモ農村ガ現金支出ヲシテ居ル肥料トカ、税金等ニ對シテ、自分ノ家デ食フ飯米ニ對シテモ、賣出ス米ノ生産費ニ於テ、或ハ半分トカ、或ハ三分ノ一トカ、アトハハッキリ申シマセヌガ、多少デモソコニ手傳ヲシテ行クヤウニ、ソコニ生産費ヲ國家ガ補給シテ行クヤウナ方法ヲ考ヘナケレバ、日本ノ農村ノ困憊ト云フモノハ決シテ解決ガ付カヌト思フノデアリマス、勿論是ハ米ノ問題ダケデ解決スルトハ思ヒマセヌガ、少クトモ斯ウ云フ統制法案ヲ作ッタ限りニ於テハ、自家用飯米ニ對スル生産費、地主ニ納メル小作料ニ對スル生産費ニ對シテ、賣出ス米ニ付テノ生産費ノ勘定ニ於テ、何トカ手傳ヲスルヤウナ方法ヲ執ルコトガ出來ナイカドウカノ問題デアリマス、農林大臣ノ御意見ヲ聽イテ置キマス

○後藤國務大臣 御尋ノ趣旨ハ、米ノ生産費ヲ計算スル時ニ、例ヘバ小作農ガアレバ、小作農ガ自分ノ飯米ニスル米、小作料トシテ出ス米、賣ル米、賣ル米ハ小作人トシテハ非常ニ僅カノ場合ガ多カラウト思ヒマスガ、食ッタ米ト、小作料ニ拂ッタ米トニ使ッタ生産費ヲ全部入レテ生産費ヲ出スカ、或ハ其三分ノ一トカ、半分トカヲ入レテ生産費ヲ出サナイト、其小作人ハ救ハレナイ、作ッタ米ニ對シテノ費用ノ「コスト」ノ補償ヲ受ケナイデハナイカ、其補償ト云フノモ「ギランテーション」ト云フ保障デナクシテ、「コンベンション」ノ補償ヲ受ケナイデハナイカト云フ意味ノ御問デハナイカト思ヒマスガ、是ハ一寸米穀政策及統制制度ノ及ブ範圍ノコトデアリマセヌ、ソレヲ米ノ生産費ニ加ヘテ計算スルト云フコトニハ參リ兼ルト思ヒマス

○由谷委員 結局只今ノ御答辯ニ依ッテ、此米穀統制法ガ農村ニ齎ス多少ノ有難味ハ、結局生産者ガ賣出ス米ニ對スル分ダケノ生産費ノ補償ト云フ程度デアッテ、我國ノ農村問題全體カラ言フナラバ、餘リ效果ガナイト云フ結論ニナルコトサヘ御承認ニナッテ戴ケバ宜イノデアリマス、此以上意見ハ申シマセヌ

大臣ノ御意見ヲ承ッテ居リマス、米作ニ對シテ利潤ハ認メナイト云ッタ風ノ建前ノヤウニ拜承シテ居ルノデアリマス、私此問題ハ非常ニ重大ナル問題ト考ヘルノデアリマス、ガ、實ハ一昨日商工大臣ガ出デ參リマシタ時ニ、私ナリ、河野君カラモ質問シテ置イタノデアリマスガ、例ヘバ政府ノ別ノ立法ノ重要産業統制法ガアリマスガ、ソレニ農村ノヤカマシイ硫酸肥料ガ其中ノ大キナ題目ニナッテ居リマスガ、商工省ノ所管ノ重要産業統制ニ於テハ、相當ノ利潤ヲ認メルト言ッテ居ルノデアリマス、然ルニ農林省ニ於ケル米穀統制法ニハ、生産費ノ相當ノ利潤ヲ認メナイト云フ建前デアルト云フコトハ、政府ノ一貫シタ統制觀念ノ徹底デハナイト思フノデアリマスガ、農林大臣ハ、米ノ生産費ニ於テ、米作ニ關スル農家ノ利潤ヲ飽マデ認メナイ方針デアリマスガ、是等ニ相當ノ利潤ヲ認メテ生産費ヲ決定シヨウト云フ御考デアリマスガ、ハッキリ承ッテ置キタイノデアリマス

○後藤國務大臣 此統制法ニ於テ生産費ヲ計算シマス場合ニ、利潤ガ計算ノ中ニ入ルベキモノデナイト思ッテ居リマス、唯米ノ生産費ニ利潤ヲ認メナイト云フ考デハナイ、利潤アラシメタイ考デアリマス、ソレ

デ生産費デ差別ヲシマセヌデ、ズツト値幅ヲ設ケテ置イテ、季節調節ナドヲ致シマシテ、其間ニモ米ノ價ノ平準ナルヤウニ努メテ、利潤ガ入ルナラバ入ラセタイ、唯宜イ加減ノ利潤ヲ作ラナイト云フダケデアリマス、生産費ノ計算ノ中ニ利潤ヲ入レルト云フコトハ出来ナイト思ヒマス、商工大臣ガドウ云フコトヲ申上ゲタカ知リマセヌガ、重要産業ノ統制法ニ於キマシテ、重要産業ノ人達ガ、自分達ガ賣出ス米ノ値段ヲ自分達決定メル時ニ、利潤ノナイヤウナ、唯「コスト」ダケデ賣ラセルヤウニシナイト云フ意味デ言ハレタノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於ケル利潤ヲ考ヘルト云フ觀念ト、統制法デ生産費等ヲ標準ニシテ公定價格ヲ定メルト云フ場合ノ考方トハ、大變モノガ違フノデアリマスカラ、片方ニ用ヒテ、片方ニ用ヒナイト云フ種類ノモノデハナイト思ヒマス

切ダト考ヘテ居リマス、是ハ米ノ相場ガ二十五圓シヨウガ、三十圓シヨウガ、所謂市場ニ於テノ相場ハ極メテ異動ガアリマス、最低最高ハ假ニ此法律ニ依ッテ決マルト致シマシテモ、其間ニ於テ常ニ動キガアル、吾々ハ農業ノヤウナ堅實ナ、而モ洵ニ利益ノ少イ仕事ニ對シテ、其利潤ノ建前ヲ自由市場カラ來ル所ノ浮動性ノモノニ置キタクナイノデアリマス、尠クトモ政府ガ農村ニ對シテ相當ニ眞剣ナ考方ヲ持ツナラバ、政府ノ力ニ依ッテ、統制シヨウト云フ此最低價格ニ於テ、相當ノ利潤ヲ農村ニ齎スヤウニスルコトガ政府ノ責任デアルトサヘ吾々ハ思フノデアリマス、何時カ河野君ノ説モアリマシタガ、我國ノ農家ガ非常ニ勉強ヲシテ、所謂多收穫デモドン／＼ヤッテ行クトシマシテモ、生産費ノ最低基準ニ於テ利潤ガ認めラレヌ時ニハ、篤農家ト云フヤウナ、農業ニ對スル勉強家ガナクナッテ行クト云フ傾向ヲ持タウト考ヘマス、更ニ吾々ノ考ヘ方ヲ廣メテ行キマスレバ、將來繭ニ對シテモ、亦重要農産物ニ對シテモ、所謂國家ノ統制制度ハ當然執ラレテ行カネバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ情勢ヲ見ル時ニ、今後農産物ノ一切ノ統制ニ對シテ悉ク利潤ヲ認めナイ、政府ハ

唯生産費ノ元々ノ相場ダケヲ保障シテヤル、後ハ自由市場ノ景氣、不景氣ノ關係ニ依ッテ一切ヲ放任スルト言ッタヤウナ考方デアルナラバ、日本ノ農村ハ未來永劫浮バレスト思フノデアリマス、之ヲ別ナ言葉デ申シマスレバ、尠クトモ政府ガ農業ニ對シテ相當ノ利潤ヲ認メルト云フ考方デナイ限り、我國ノ農村ノ窮乏ハ未來永劫救ハレヌト思フノデアリマス、日本ノ農村經濟ハ永久ニ無間地獄ニ陥ルノデアリマス、此場合政府ガ生産費ノ計算ニ相當ノ利潤ヲ認メルコトガ、米作ノ上ニ於テ一番適正ナ方法デアルト思フノデアリマスガ、農林大臣ハ飽迄モ最低最高、即チ生産費ノ調査ノ基礎ニ於テ利潤ヲ何處マデモ認めヌト云フノデアリマスカ、ハッキリ聽イテ置キタイノデアリマス

云フコトニナル、統制ト云フノハサウ云フ觀念デアリマス、認メルコトハ認メルガ、其代リソレ以上ニ賣ラセナイ、所ガ今日ノ我國ノ一般ノ經濟關係ニ於キマシテ、米ヲ自由商品デアアル位置カラ脱却サシテシマフ、又商品トシテモ消費者ト云フ方ノ側ハ暫ク別トシテ、生産者ガ自分デ一ツノ團體カ何カ作ッテ、ソレデ米ヲ賣出スト云フノヲ統制シテ行カウト云フ行キ方デアリマセヌデ、米ノ需要供給ノ一般ノ決定ノ中ニ政府ガ入り込ンデ行ッテ、サウシテ最低最高ノ枠ヲ拵ヘテ、其中ニ米ノ値段ヲ織込マウ、斯ウ云フ仕組ナノデアリマス、デアルカラ利潤ノ少イ時モアレバ、利潤ノ非常ニ大キナル場合ヲモ許シテ置カウト云フ考方ナノデアリマス、其利潤ト云フコトニ餘リ固執スルコトハ、今日行フ新統制制度ノ場合ニ於テ、農家ノ爲ニ利潤ガアルナラバ、ソレ以上ニ米ノ上ルト云フ場合ヲモウ餘リ農家ハ欲シナイト云フ議論ヲ喚起ス虞ガアルヤウニ思フノデアリマス、私ハ新統制法ニ於テ生産費ノ計算ノ中ニ利潤ヲ入レルト云フコトハ至當デナイト考ヘマス

○由谷委員 只今大臣ハ何カ私ノ觀念ニ混亂ガアルヤウナ御話ガアリマシタガ、決シテ混亂ハアリマセヌ、寧ロ私が農林大臣ノ

○後藤國務大臣 私ノ申スコト、アナタノ仰シヤルコトノ間ニ少シ觀念ノ混亂ガアルヤウニ思ヒマス、若シ茲ニ農業者ガ自治的ノ統制ヲシテ、ソレニ政府ガ非常ニ力ヲ入レテ、農業者ガ自ラ賣出ス米ノ値段ナドヲ決メテ掛ルト云フヤウナ場合デアリマシタナラバ、是ハ相當ノ利潤ヲ認めナケレバナラス、其代リ相當ノ利潤ヲ認めタ以上ハ、ソレ以上ニ賣ルコトハイケナイ、斯ウ

○由谷委員 只今大臣ハ何カ私ノ觀念ニ混亂ガアルヤウナ御話ガアリマシタガ、決シテ混亂ハアリマセヌ、寧ロ私が農林大臣ノ

答辯ヲ聽イテ居ルト、農林大臣ノ認識ニ混
亂ガアルヤウニ感ズルノデアリマス、結局
私ノ質問シテ居ル骨子ハ、政府ノ決メル最
低米價、ソレガ最も最悪ナ場合ノ最低米價
ニ於テモ、相當ナ利潤ヲ農民ニ齎スコトヲ

ノ相違ニナリマスカラ、追窮致シマセヌ、
唯農林大臣ハ日本ノ農業ノ米作ノ最悪ノ場
合ニ於テハ利潤ヲ認メナイト云フ建前ニ
立ッテ居ル、斯ウ解釋シテ次ノ質問ニ移リマ
ス

ナ考ヘ方デ行キマスナラバ、個々ノ面倒ナ
調査ガ出來ナイトカ、立法ガ困難ダトカ、
斯ウ云フ小乗的ナ障礙ヲ飛越エテ、ソコニ
必ズ農民ノ満足スルヤウナ生産費ガ出ルト
思フノデアリマス、即チ具體的ニ申シマス

礎ヲ出シテ、先ヅ是ナラバ農家モ納得ガ行
クデアラウト云フ、合理的ノ數字ノ基礎ヲ
作ッテ、ソコニ於テ決メテ行カナケレバナラ
ヌト考ヘテ居リマス

考ヘルカ、考ヘヌカノ問題デアリマス、私

私ハ生産費ノ問題ニ付テ斯ウ云フ相談的

ナラバ、政府ノ言フ二十圓八十六錢ニ「ブ

テ、後ハ次ノ機會ニ於テ致シマスガ、政府

ハ米穀ノ專賣ヲシロト言ッテ居ルノデハナ
イ、米ノ相場ヲ一定ニシロト言ッテ居ルノ

ノ質問ヲシタイノデアリマス、生産費ノ査
定ニ付テハ戸數割ノ問題、部落費ノ問題、

ラス」二割ノ増加ヲ附加シマス、サウスレ
バ二十五圓バカリニナリマセウガ、其二十

ノ御示シニナリマシタ米穀特別會計資金ノ
運用ノ表ヲ見マスルト、千二百萬石ヲ四億三

デモナイ、最高最低ノ相場ノ開キニ於テ上
タリ下ッタリスルコトハ認メテ居ルノデア

或缺陷ヲ委員ノ諸君カラ熱心ニ指摘サレテ居
リマスシ、更ニ今日私ノ申上デマシタヤウ

ナハッキリシタ法律的條文ヲ、施行令ナリ施
行細則ニ加ヘマシテ、ソレデ生産費ヲ決定

スガ、アレニ依ルト一石二十七圓二十錢見
當ノ單價ニナッテ居リマスガ、是ハ政府ガ

ナルデアリマセウガ、下ッテシマッテ政府ガ
米穀資金ノ發動ヲシテ、米ノ買上ヲセヌナ

ニ對シテハ政府ガ今現行米穀法ノ施行規則
デ以テヤッテ居ルヤウナ、生産費ノ算出方法

良イト考ヘテ居ルノデアリマスガ、農林大
臣ハドウ考ヘルカト云フコトデアリマス

デアリマスガ、斯ウ云フ風ナ數字ヲ見ルコ
トハ農村ノ爲ニ愉快ニ考ヘルノデアリマス

ラヌヤウナ最も最悪ナ場合ニ於テモ、少ク
トモ日本ノ農家ハ米作ニ於テハ一割トカ、

ガ改マラス以上ハ、農家ノ實際生活ニ於テ
チットモ有難クナイノデアリマス、ソコデ

ハサウ云フ風ニ致サナイ方ガ宜イト考ヘマ
ス、是マデヤッテ居ル生産費ノ調査ヲ固執

置キタイノデアリマス

二割トカ適當ナ儲ケヲ貰フノダ、斯ウ云フ
觀念ニ立ツコトガ一番必要ダと思ッテ農林大

生生産費ノ問題ニ付テ斯ウ云フコトヲシタラ
ドウカ、即チ政府ガ一生懸命ヤッテ居ル中

ハ致シマセヌ、是モ相當ニ調査シタモノデ
アリマスケレドモ、戸數割、部落費等ヲド

デアリマス、大體今日物價ノ趨勢等ヲ見マ
スルト、一體ニ上ッテ來ルノデハナイカト

觀念ニ立ツコトガ一番必要ダと思ッテ農林大
臣ノ御意見ヲ聽イテ居ルノデアリマス、農

庸生産費ニ、施行規則或ハ施行令等ニ於テ
「プラス・エキス」ヲスル、假ニ御示シニナッ

ウ云フ工合ニ考ヘタラ宜シイカト云フヤウ
ナ事柄ハ、更ニ考究ヲ致シタイト思ッテ居

ニデモ、之ニ應ジ得ルト云フ計算デ居ルノ
デアリマス、又ソレヨリ以上ニ最低價格ガ

林大臣ノ答辯ニ依リマス、最低ヲ決メテ
ソレデ儲ケガナイトシテモ、其代リニ最高

タ表ニ依ルト、二十圓八十六錢ノ中庸生産
費、是ノ生産費ノ遣方ガ非常ニ間違ッテ居

リマスガ、ドウモ「エキス」ヲ加ヘル、ソコ
ニ一割トカ二割トカ云フモノヲ加ヘルト云

上ガルヤウナ時ガ來タラドウスルカト云
フ御質問ガ出ルカモ知レマセヌガ、サウ餘

最低ノ値幅ノ動キニ於テ多少ノ儲ケヲ期待
スルノダカラ、ソレデ宜シイ、斯ウ言ッタ風

ルト云フ一切ノ理由ニ對抗スル意味ニ於
テ、此決ッタ生産費ニ更ニ一割トカ、一割五

分トカ、二割トカノ「エキス」ヲ加ヘルコ
トニ依ッテ、生産費ノ總計ヲ決メルト云フ風

ニ貼スカラ、政府ハ直チニソレヲヤルコト
ハ出來ナイ、色々ノ計數ニ依ッテ合理的基

觀念ハ、吾々ノ考ヘル統制トハ甚ダ距離ノ
アルノヲ發見シテ、衷心カラ遺憾ニ思フノ

トニ依ッテ、生産費ノ總計ヲ決メルト云フ風

ニ貼スカラ、政府ハ直チニソレヲヤルコト
ハ出來ナイ、色々ノ計數ニ依ッテ合理的基

ニ貼スカラ、政府ハ直チニソレヲヤルコト
ハ出來ナイ、色々ノ計數ニ依ッテ合理的基

デアリマス、併シ是モ結局是レ以上ハ意見

トニ依ッテ、生産費ノ總計ヲ決メルト云フ風

ハ出來ナイ、色々ノ計數ニ依ッテ合理的基

ニ貼スカラ、政府ハ直チニソレヲヤルコト
ハ出來ナイ、色々ノ計數ニ依ッテ合理的基

リ先カラ先マデ心配シテモ仕方ガナイト
思ッテ居リマス、相當ナ見込ヲ立テ、ソ
レニ應ジ得ルヤウナ計算ノ準備ヲ進メル積
リデ居リマス

○東委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會致
シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマ
ス、左様御承知ヲ願ッテ置キマス

午後四時十一分散會